

(資料編)

- ・ 地域医療構想策定の経緯
- ・ 栃木県地域医療構想策定懇談会設置要綱及び委員名簿
- ・ 各構想区域別地域医療構想策定懇談会委員名簿
- ・ 栃木県がん総合対策検討会における検討結果
- ・ 栃木県脳卒中・急性心筋梗塞対策協議会における検討結果

(データ編)

- ・ 表 01 栃木県における医療需要の推計値（医療機関所在地）（2025－2040）
- ・ 表 02 栃木県における医療需要の推計値（患者住所値）（2025－2040）
- ・ 表 03 栃木県における必要病床数の推計値（医療機関所在地）（2025－2040）
- ・ 表 04 栃木県における必要病床数の推計値（患者住所値）（2025－2040）
- ・ 表 05 栃木県における主要診断群別の医療需要及び必要病床数の推計値（医療機関所在地）（2025）
- ・ グラフ 01 2025 年の必要病床数の構成（栃木県、疾病グループ別）
- ・ グラフ 02 2025 年の必要病床数での患者流出入状況（栃木県、疾病グループ別）
- ・ 図 01 2025 年における患者流出入の都道府県調整の対象数
- ・ 図 02 がんの専門診療を担う医療機関の時間距離に応じた人口カバー率
- ・ 図 03 脳卒中専門医療機関の時間距離に応じた人口カバー率
- ・ 図 04 急性心筋梗塞の急性期医療を担う医療機関の時間距離に応じた人口カバー率
- ・ 図 05 病院群輪番制病院（二次救急医療）の時間距離に応じた人口カバー率
- ・ 図 06 回復期リハビリテーション病棟を有する病院の時間距離に応じた人口カバー率
- ・ 図 07 在宅療養支援診療所・病院の時間距離に応じた人口カバー距離
- ・ 図 08 訪問看護ステーションの時間距離に応じた人口カバー距離
- ・ 表 06 平成 26 年度病床機能報告結果
- ・ 表 07 栃木県医療実態調査による病院の入院患者数（一般病床＋療養病床）、流入流出割合

栃木県地域医療構想策定の経緯

	栃木県地域医療構想策定懇談会	各構想区域策定懇談会 等
平成27年 7月		
8月		
9月		
10月		
11月		
12月		
1月		
2月		
3月		

栃木県地域医療構想策定懇談会設置要綱

(設 置)

第1条 高齢化の進展に伴い医療需要が増大する中において、二次医療圏等ごとに各医療機能の将来の必要量を推計し、その地域にふさわしいバランスのとれた医療機能の分化と連携を推進するため、「栃木県地域医療構想策定懇談会」（以下「懇談会」という。）を設置する。

(協議事項)

第2条 懇談会は、次に掲げる事項について協議する。

- (1) 「栃木県地域医療構想」の策定に関する事項
- (2) その他必要な事項

(組 織)

第3条 懇談会は、委員16名以内をもって構成する。

2 委員は、次に掲げる者の中から知事が委嘱する。

- (1) 医療関係団体等の代表
- (2) 介護福祉関係団体等の代表
- (3) 学識経験者
- (4) その他関係機関・団体の代表

(会長及び副会長)

第4条 懇談会に会長及び副会長を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選により選出する。

3 会長は、協議会を主宰し、会務を総理する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代理する。

(会 議)

第5条 懇談会の会議は、栃木県保健福祉部長が招集し、会長が議長となる。

2 会長は、必要があると認めるときは、懇談会に委員以外の者の出席を求めて意見を聴くことができる。

(事務局)

第6条 懇談会の事務局は、栃木県保健福祉部医療政策課に置く。

(その他)

第7条 この要綱に定めるもののほか、懇談会の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成27年6月12日から実施する。

栃木県地域医療構想策定懇談会委員

平成27年7月3日現在

No.	団 体 名	役 職 等	氏 名	備 考
1	一般社団法人栃木県医師会	会 長	太田 照男	
2	一般社団法人栃木県歯科医師会	会 長	柴田 勝	
3	一般社団法人栃木県薬剤師会	常務理事	廣田 孝之	
4	公益社団法人栃木県看護協会	会 長	河野 順子	
5	栃木県病院協会	常任理事	吉田 良二	
6	一般財団法人栃木県精神衛生協会	会 長	青木 公平	
7	栃木県社会福祉協議会	常務理事	山中 晃	
8	一般社団法人栃木県老人福祉施設協議会	会 長	大山 知子	
9	一般社団法人栃木県老人保健施設協会	会 長	矢尾板誠一	
10	栃木県女性団体連絡協議会	事務局長	加藤 幸子	
11	全国健康保険協会栃木支部	支部長	栗田 昭治	
12	自治医科大学	病院長	佐田 尚宏	
13	獨協医科大学	病院長	平石 秀幸	
14	栃木県議会	生活保健福祉委員 会副委員長	亀田 清	
15	宇都宮市	保健福祉部長	本橋 道正	
16	野木町	健康福祉課長	田村 俊輔	

※ 会長は必要に応じ、会議に委員以外の者の出席を求め、意見(特定の地域や分野の医療に関すること)を聴くことができる。

県北地域医療構想策定懇談会 委員名簿

No.	選任区分	団 体 名	役 職 名	氏 名
1	郡市医師会	那 須 郡 市 医 師 会	会 長	江 部 寛
2		塩 谷 郡 市 医 師 会	会 長	山 田 聰
3		南 那 須 医 師 会	会 長	高 野 和 郎
4	地区歯科医師会	那 須 歯 科 医 師 会	会 長	伊 東 隆 一
5	地区薬剤師会	大 田 原 薬 剤 師 会	副 会 長	佐 藤 典 夫
6	看護協会地区支部	栃 木 県 看 護 協 会 県 北 地 区 支 部	支 部 長	相 馬 幸 子
7	地域の病院等の代表	那 須 赤 十 字 病 院	院 長	北 島 敏 光
8		国 際 医 療 福 祉 大 学 院 塩 谷 病 院	院 長	福 井 康 之
9		那 須 南 病 院	院 長	宮 澤 保 春
10		国 際 医 療 福 祉 大 学 病 院	院 長	桃 井 眞 里 子
11		栃 木 県 医 師 会 院 塩 原 温 泉 病 院	院 長	森 山 俊 男
12		菅 間 記 念 病 院	理 事 長	菅 間 博
13		黒 須 病 院	院 長	手 塚 幹 雄
14		室 井 病 院	院 長	室 井 尚 武
15		尾 形 医 院	院 長	尾 形 新 一 郎
16	老人保健福祉協議会	特 別 養 護 老 人 木 一 ム 荘 の 実 施 施 設	施 設 長	原 修 一
17	老人保健施設協議会	介 護 保 健 施 設 施 設 マ 口 二 工 苑	理 事 長	高 木 邦 格
18	住民・患者を代表する者	大 田 原 地 区 食 生 活 改 善 会 推 進 団 体 連 絡 協 議 会	会 長	唐 橋 洋 子
19	保険者	全 国 健 康 保 険 協 会 支 部 栃 木 支 部	企 画 総 務 部 長	大 谷 幸 男
20	市町村	那 須 市 町 村 会	会 長	津 久 井 富 雄
21		塩 谷 市 町 村 長 会	会 長	加 藤 公 博
22		那 須 烏 山 市	市 長	大 谷 範 雄
23	学識経験者	国 際 医 療 福 祉 大 学	副 学 長	糸 山 泰 人
24	県健康福祉センター	県 北 健 康 福 祉 セ ン タ ー	所 長	大 橋 俊 子
25		矢 板 健 康 福 祉 セ ン タ ー	所 長	大 島 徹
26		烏 山 健 康 福 祉 セ ン タ ー	所 長	菊 地 孝 宏

県西地域医療構想策定懇談会 委員名簿

No.	選任区分	団 体 名	役 職 名	氏 名
1	郡市医師会	上 都 賀 郡 市 医 師 会	会 長	奥 山 明 彦
2		〃	副 会 長	木 村 安 志
3	地区歯科医師会	鹿 沼 歯 科 医 師 会	会 長	佐 川 徹 三
4		日 光 歯 科 医 師 会	会 長	中 村 雅 夫
5	地区薬剤師会	鹿 沼 薬 剤 師 会	会 長	下 妻 和 彦
6		日 光 市 薬 剤 師 会	会 長	和 貝 益 男
7	看護協会地区支部	栃 木 県 看 護 協 会 県 西 地 区 支 部	支 部 長	境 野 博 子
8	医療機関	上 都 賀 総 合 病 院 (公 的 医 療 機 関)	院 長	十 川 康 弘
9		獨 協 医 科 大 学 日 光 医 療 セ ン タ ー	院 長	中 元 隆 明
10		今 市 病 院	院 長	熊 谷 眞 知 夫
11		竹 村 内 科 腎 ク リ ニ ッ ク	院 長	竹 村 克 己
12	老人福祉	鹿 沼 市 特 別 養 護 老 人 ホ ー ム 連 絡 協 議 会	会 員	福 田 英 夫
13	老人保健	栃 木 県 老 人 保 健 施 設 協 議 会	会 長	矢 尾 板 誠 一
14	住民・患者	鹿 沼 市 男 女 共 同 参 画 社 会 づ く り 実 行 委 員 会	会 長	塩 入 佳 子
15		日 光 市 手 を つ な ぐ 育 成 会	会 長	木 野 内 昭
16	市	鹿 沼 市 保 健 福 祉 部	部 長	岡 部 健
17		日 光 市 健 康 福 祉 部	部 長	阿 久 津 正
18	保険者	全 国 健 康 保 険 協 会 栃 木 支 部	企 画 総 務 部 長	大 谷 幸 男
19	保健所長	栃 木 県 県 西 健 康 福 祉 セ ン タ ー	所 長	大 原 智 子

宇都宮地域医療構想策定懇談会 委員名簿

No.	選任区分	団体名	役職名	氏名
1	地域の医療関係団体等の代表	宇都宮市医師会	会長	片山辰郎
2			副会長	金子達
3		宇都宮市歯科医師会	会長	北條茂男
4		宇都宮市薬剤師会	会長	石崎一郎
5		栃木県看護協会	常任理事	馬込公子
6		済生会宇都宮病院	院長	吉田良二
7		独立行政法人国立病院機構 栃木医療センター	院長	長谷川親太郎
8		独立行政法人国立病院機構 宇都宮病院	院長	沼尾利郎
9		独立行政法人地域医療機能推進機構 うつのみや病院	院長	草野英二
10		宇都宮記念病院	院長	崎尾秀彰
11		藤井脳神経外科病院	理事長	藤井卓
12		根本外科胃腸科医院	院長	根本猛彦
13	地域の介護福祉関係団体等の代表	栃木県老人福祉施設協議会	社会福祉法人宝生 会理事	沼尾成美
14		栃木県老人保健施設協会	医療法人北斗 理事長	藤沼澄夫
15	住民の代表	宇都宮市自治会連合会	会長	金田貞夫
16	宇都宮市保健所	宇都宮市保健福祉部保健所	保健医療監	上原里程
17	学識経験者	自治医科大学	教授	石川鎮清
18		獨協医科大学	主任教授	小橋元
19	その他地域の関係機関・団体の代表	全国健康保険協会栃木支部	支部長	栗田昭治
20		栃木銀行健康保険組合	常務理事	江面理博
21		宇都宮市保健福祉部高齢福祉課	主幹 (介護保険担当)	中山数弘

県東地域医療構想策定懇談会 委員名簿

No.	選任区分	団 体 名	役 職 名	氏 名
1	保健医療関係団体	芳 賀 郡 市 医 師 会	副 会 長 医療政策担当理事	小 川 松 夫
2		芳 賀 郡 市 医 師 会	在宅医療担当理事	趙 達 来
3		芳 賀 歯 科 医 師 会	会 長	小 林 康 彦
4		芳 賀 郡 市 薬 剤 師 会	理 事	岸 祥 江
5		栃木県看護協会県東地区支部	支 部 長	戸 崎 敦 代
6		栃木県栄養士会真岡支部	支 部 長	市 川 し ず 子
7	社会福祉関係団体	真 岡 市 社 会 福 祉 協 議 会	会 長	伊 藤 芳 夫
8		芳賀郡市管内介護支援専門員連絡会	会 長	佐々木 清美
9	受療者	真岡市女性団体連絡協議会	会 長	堀 澤 綾 子
10	市町	真 岡 市 健 康 増 進 課	課 長	皆 川 賢 一
11		真 岡 市 福 祉 課	課 長	佐 藤 厚
12		益 子 町 健 康 福 祉 課	課 長	小 堀 浩
13		益 子 町 高 齢 福 祉 課	課 長	大 内 正 美
14		茂 木 町 保 健 福 祉 課	課 長	稲 葉 雅 美
15		市 貝 町 健 康 福 祉 課	課 長	永 山 良 一
16		芳 賀 町 健 康 福 祉 課	課 長	小 林 し げ 子
17		芳 賀 町 高 齢 支 援 課	課 長	赤 澤 幸 男
18	学識経験者	自 治 医 科 大 学	教 授	中 村 好 一
19	公的医療機関	芳 賀 赤 十 字 病 院	院 長	安 田 是 和
20	健康福祉センター	県 東 健 康 福 祉 セ ン タ ー	所 長	桑 野 哲 実
21	民間医療機関(病院)	真 岡 病 院	院 長	横 田 徳 継
22	民間医療機関(診療所)	真 岡 中 央 ク リ ニ ッ ク	院 長	小 川 松 夫
23	地区老人福祉施設協議会	特 別 養 護 老 人 ホ ー ム 椿 寿 園	施 設 長	栗 田 正 信
24	地区老人保健施設協議会	医 療 法 人 櫻 美 会 (ナ ー シ ン グ ホ ー ム 青 葉)	理 事 長	櫻 井 豊
25	保険者	全 国 健 康 保 険 協 会 栃 木 支 部	支 部 長	栗 田 昭 治

県南地域医療構想策定懇談会 委員名簿

No.	選任区分	団体名	役職名	氏名
1	郡市医師会	下都賀郡市医師会	会長	安楽之孝
2		小山地区医師会	会長	松岡淳一
3	地区歯科医師会	下都賀歯科医師会	会長	臼井正人
4		小山歯科医師会	会長	田村壽彦
5	地区薬剤師会	栃木地域薬剤師会	会長	牛久幸泰
6		小山薬剤師会	会長	山田利信
7	看護協会地区支部	栃木県看護協会栃木地区支部	地区理事	山口久美子
8		栃木県看護協会小山地区支部	地区理事	関根照代
9	地域の病院等を 代表する者(私)	獨協医科大学病院	院長	平石秀幸
10		自治医科大学附属病院	院長	佐田尚宏
11		とちぎメディカルセンター下都賀総合病院	院長	村野俊一
12		新小山市民病院	院長	島田和幸
13	地域の病院等を 代表する者(有)	藤沼医院	院長	藤沼彰
14		船田内科外科医院	院長	船田隆
15	地区老人福祉施設協議会	特別養護老人ホームレユーナ	施設長	吉田東美雄
16	地区老人保健施設協議会	介護老人保健施設安純の里	理事長	松永安優美
17	住民・患者を代 表する者	栃木市女性団体連絡協議会	会長	田村孝子
18		小山市女性団体連絡協議会	副会長	仲村久代
19	保険者	東京鐵鋼健康保険組合	常務理事	渡邊清
20	管内市町村	栃木市	保健福祉部長	奈良部俊次
21		小山市	保健福祉部長	栗原千早
22		下野市	健康福祉部長	小口英明
23		上三川町	健康課長	渡辺誠司
24		壬生町	民生部長	落合広美
25		野木町	町民生活部長	大森和男
26	保健所長	栃木健康福祉センター	所長	宮澤昌彦
27		県南健康福祉センター	所長	小林雅與

両毛地域医療構想策定懇談会 委員名簿

No.	選任区分	団 体 名	役 職 名	氏 名
1	地域の医療関係 団体等の代表	足 利 市 医 師 会	会 長	関 隆 郎
2		佐 野 市 医 師 会	会 長	林 一 宣
3		足 利 歯 科 医 師 会	会 長	氣 賀 昌 彦
4		佐 野 歯 科 医 師 会	会 長	湯 本 誠
5		足 利 薬 剤 師 会	理 事	小 暮 喜 彦
6		佐 野 薬 剤 師 会	会 長	平 田 義 人
7		栃木県看護協会安足地区支部	支 部 長	山 田 哲 子
8	医療を受ける側 の代表	足 利 市 社 会 福 祉 協 議 会	会 長	岩 田 昭
9		足 利 市 女 性 団 体 連 絡 協 議 会	会 長	小 林 静 子
10	病院の管理者	足 利 赤 十 字 病 院	院 長	小 松 本 悟
11		佐 野 厚 生 総 合 病 院	院 長	奥 澤 星 二 郎
12	保険者	アキレス健康保険組合	常 務 理 事	上 岡 博
13	地区老人保健施設協会	栃木県老人保健施設協会	理 事	前 澤 孝 通
14	地区老人福祉施設協議会	特別養護老人ホーム義明苑	施 設 長	澁 澤 忠 則
15	市	足 利 市	市 長	和 泉 聡
16		佐 野 市	市 長	岡 部 正 英

栃木県がん総合対策検討会における検討結果

1 開催状況

(1) 開催日時 平成 27 年 8 月 26 日（水）14 時 00 分～16 時 00 分

(2) 出席委員 8 名

2 将来の医療需要と提供体制に関する検討及び構想策定にあたり留意すべき点

【将来の必要病床数に影響を及ぼすと考えられる要因】

- ・ がん検診による早期発見の推進、入院治療から外来治療への移行、肝炎ウイルス対策による肝臓がんの減少、早期胃がんや早期大腸がんに対する内視鏡的切除の増加などにより、急性期相当の入院需要は減少する可能性がある。

【急性期の医療提供体制】

- ・ がんについては、2 次医療圏ごとの地域完結型医療を目指すことは困難であり、県内の医療資源、地理や交通網等の状況を踏まえた上で、県全体での機能分化や連携を考慮することが望ましいとの意見があった。
- ・ 小児がん、希少がん、高度な治療を要するがんについては、今後とも、大学病院や県立がんセンターに集約し、対応していくべきである。

【外来治療（化学療法、放射線治療）】

- ・ 働く世代や高齢者のがん患者の増加に伴って、外来治療に対するニーズは今後益々高まると推察されるが、放射線治療医や腫瘍内科医は少ないため、人材確保や育成が必要である。

【在宅医療、終末期】

- ・ 地域の受け皿を確保するため、医療介護従事者に対するがん教育が必要である。
- ・ 今後は、在宅療養中のがん患者が急な入院を要した場合、必ずしも急性期治療を受けた病院で受け入れてもらえるとは限らない。特に、終末期や看取りに関する体制については、2 次医療圏ごとに拠点病院や後方支援病院等も含めて関係者間で検討していく必要がある。

【その他の留意点】

- ・ がん患者、家族だけでなく、医療介護従事者においても、緩和ケアに対する理解が乏しく、また、誤解や偏見もある。がん患者の苦痛の軽減、療養生活の質の向上に向け、緩和ケアに関する正しい知識と技術を普及し、がんと診断された時からの緩和ケアを推進する必要がある。

入院患者住所で見た受療動向 (全がん、全年齢)

入院患者住所 (総レセプト件数)	入院医療機関住所						
	県北	県西	宇都宮	県東	県南	両毛	他県*
県北(11,852)	71.8%	1.5%	17.9%	0.1%	5.9%		2.8%
県西(7,035)	0.5%	55.2%	19.1%		23.8%		1.4%
宇都宮(14,149)	0.6%	0.4%	80.4%	0.3%	16.8%		1.5%
県東(3,987)	1.6%		17.0%	53.0%	25.5%		2.9%
県南(11,617)	0.2%	0.4%	6.6%	0.4%	80.7%	2.7%	9.0%
両毛(7,980)			1.7%		8.9%	78.7%	10.7%

(厚生労働省提供「二次医療圏別受療動向分析ツール」分析結果)

*近隣県への流出状況(端数処理のため、合計は上表と一致しないことがある)

県北: 福島県1.4%、茨城県0.2%、埼玉県0.2%、千葉県0.2%、東京都0.8%

県西: 茨城県0.2%、群馬県0.6%、東京都0.6%

宇都宮: 福島県0.1%、茨城県0.2%、埼玉県0.2%、千葉県0.2%、東京都0.9%

県東: 茨城県2.2%、東京都0.7%

県南: 福島県0.1%、茨城県6.6%、群馬県0.2%、埼玉県0.4%、千葉県0.1%、東京都1.3%

両毛: 茨城県0.1%、群馬県8.5%、埼玉県0.4%、東京都1.7%

入院医療機関住所で見た受療動向 (全がん、全年齢)

入院医療機関住所 (総レセプト件数)	入院患者住所						
	県北	県西	宇都宮	県東	県南	両毛	他県*
県北(8,947)	95.1%	0.4%	0.9%	0.7%	0.3%		2.6%
県西(4,191)	4.2%	92.7%	1.3%		1.2%		0.6%
宇都宮(16,698)	12.7%	8.0%	68.1%	4.1%	4.6%	0.8%	1.7%
県東(2,353)	0.7%		1.7%	89.8%	2.1%		5.7%
県南(18,771)	3.7%	8.9%	12.7%	5.4%	50.0%	3.8%	15.5%
両毛(7,327)					4.2%	85.7%	10.1%

(厚生労働省提供「二次医療圏別受療動向分析ツール」分析結果)

*近隣県からの流入状況(端数処理のため、合計は上表と一致しないことがある)

県北: 福島県0.7%、茨城県1.1%、埼玉県0.3%、千葉県0.2%、東京都0.4%

県西: 東京都0.5%

宇都宮: 福島県0.5%、茨城県0.7%、群馬県0.1%、埼玉県0.1%、東京都0.2%

県東: 茨城県5.7%

県南: 福島県0.3%、茨城県11.7%、群馬県1.0%、埼玉県2.2%、千葉県0.1%、東京都0.2%

両毛: 茨城県0.1%、群馬県9.6%、埼玉県0.2%、東京都0.4%

医療機能別に見た入院患者の医療需要(全がん)

(2013年度:実績、2025年度:推計)

[人/日]

医療圏	医療機能	入院医療機関住所		入院患者住所	医療圏	医療機能	入院医療機関住所		入院患者住所
		2013	2025	2025			2013	2025	2025
県北	高度急性期相当	28.2	32.1	53.9	県東	高度急性期相当	<10	<10	19.5
	急性期相当	75.5	87.8	137.4		急性期相当	18.4	21.6	48.4
	回復期相当	55.4	64.9	99.2		回復期相当	15.2	18.2	36.1
県西	高度急性期相当	<10	<10	27.8	県南	高度急性期相当	118.9	122.6	56.2
	急性期相当	26.6	31.0	70.7		急性期相当	268.8	286.4	139.3
	回復期相当	25.7	30.1	60.0		回復期相当	225.8	244.4	118.4
宇都宮	高度急性期相当	75.8	87.8	79.5	両毛	高度急性期相当	25.0	26.2	31.6
	急性期相当	162.8	191.3	176.7		急性期相当	66.5	71.4	81.0
	回復期相当	106.7	126.8	131.4		回復期相当	51.8	55.5	64.3

【医療機能】1日あたりの入院医療費(入院基本料等除く)による区分。(厚生労働省提供「必要病床数等推計ツール」分析結果)

高度急性期は3000一点、急性期は600-3000点、回復期は175-600点に相当する。

【医療需要】H25年度の全保険者のNDBレセプト、DPC、公費負担、分娩、労災、自賠責等、住民基本台帳人口、将来推計人口等のデータを用いて、 $\Sigma(H25入院受療率 \times 将来推計人口)$ などにより推計。

栃木県がん総合対策検討会 委員名簿

氏 名	所 属	役 職
植木 敬介	獨協医科大学病院腫瘍センター	教 授
上原 里程	宇都宮市保健福祉部	保健医療監
栗原 みどり	あけぼの会栃木支部	支部長
小林 健二	栃木県済生会宇都宮病院	副院長
坂本 裕明	たんぽぽの会	会 長
清水 秀昭	栃木県立がんセンター	所 長
田村 俊輔	野木町健康福祉課	課 長
中村 好一	自治医科大学公衆衛生学教室	教 授
長島 徹	栃木県医師会	常任理事
藤井 博文	自治医科大学附属病院臨床腫瘍部	教 授
馬込 公子	栃木県看護協会	常任理事
武藤 孝司	栃木産業保健総合支援センター	所 長

(50音順、敬称略)

栃木県脳卒中・急性心筋梗塞対策協議会検討結果

1 開催状況

- (1) 開催日時 平成 27 年 8 月 18 日（火）午後 5 時 00 分～6 時 45 分
- (2) 出席委員 16 名

2 現状分析と地域医療構想策定における留意点

【脳卒中について】

◇急性期・回復期

- ・全ての 2 次医療圏に t-PA 療法や観血的手術などの専門的治療が提供可能な医療機関は確保されているが、一定程度の流出入が見られる。
- ・高齢化の進行により、今後、急性期医療や回復期リハビリテーションなど医療需要の増加が予測されるため、将来の医療需要を見据えた提供体制を、2 次医療圏ごとに構築されることが望ましい。

◇維持期

- ・再発予防の観点から、患者の基礎疾患の管理が継続的に行われるよう、専門医とかかりつけ医との連携を推進することが望ましい。
- ・療養支援の観点から、後遺症のある患者に、生活の場において在宅医療や介護サービスを切れ目なく提供できるよう、医療機関、訪問看護、ケアマネジャー等の連携の充実を図ることが望ましい。

【急性心筋梗塞について】

◇急性期・回復期

- ・全ての 2 次医療圏に心臓カテーテル治療の提供可能な医療機関は確保されているが、一定程度の流出入が見られる。
- ・2 次医療圏ごとに 24 時間心臓カテーテル治療が実施可能な体制を、将来の医療需要を見据えた上で整備されることが望ましい。

◇再発予防

- ・患者の基礎疾患の管理が継続的に行われるよう、専門医とかかりつけ医との連携を推進することが望ましい。

【構想策定にあたり留意すべき点】

- ・脳卒中、急性心筋梗塞とも、2 次医療圏間の医療提供体制に差が見られる状況であり急性期医療においては他の 2 次医療圏との緊密な連携によって、適切な医療が提供される体制を維持・充実していくことが望ましい。

入院患者住所で見た受療動向 (脳卒中、全年齢)

入院患者住所 (総レセプト件数)	入院医療機関住所						
	県北	県西	宇都宮	県東	県南	両毛	他県*
県北(25,791)	84.5%	0.8%	11.8%		1.3%		1.6%
県西(15,870)	2.8%	76.0%	11.9%	0.1%	8.5%		0.7%
宇都宮(27,865)	1.3%	1.2%	90.9%	0.2%	5.8%		0.6%
県東(9,509)	2.6%	0.2%	9.8%	71.1%	11.2%		5.1%
県南(24,841)	0.4%	0.9%	6.2%	0.9%	80.7%	2.7%	8.2%
両毛(18,233)	0.2%	0.1%	0.3%		1.6%	87.9%	9.9%

(厚生労働省提供「二次医療圏別受療動向分析ツール」分析結果)

*近隣県への流出状況(端数処理のため、合計は上表と一致しない)

- 県北: 福島県0.9%、茨城県0.2%、埼玉県0.3%、東京都0.2%
- 県西: 群馬県0.2%、千葉県0.2%、東京都0.3%
- 宇都宮: 茨城県0.2%、埼玉県0.1%、千葉県0.1%、東京都0.2%
- 県東: 茨城県4.6%、埼玉県0.4%、千葉県0.1%
- 県南: 福島県0.1%、茨城県6.9%、群馬県0.4%、埼玉県0.2%、千葉県0.1%、東京都0.4%
- 両毛: 群馬県9.4%、埼玉県0.3%、東京都0.2%

読み取り結果

宇都宮医療圏は90%以上、県北、県南、両毛医療圏は80%以上、県西、県東医療圏は70%以上が居住医療圏内に入院している。
 県西、県東医療圏からは宇都宮、県南医療圏にそれぞれ約10%が流出している。

入院医療機関住所で見た受療動向 (脳卒中、全年齢)

入院医療機関住所 (総レセプト件数)	入院患者住所						
	県北	県西	宇都宮	県東	県南	両毛	他県*
県北(23,553)	92.5%	1.9%	1.5%	1.0%	0.4%	0.1%	2.6%
県西(13,044)	1.6%	92.5%	2.6%	0.1%	1.7%	0.2%	1.3%
宇都宮(33,310)	9.1%	5.7%	76.1%	2.8%	4.6%	0.1%	1.6%
県東(7,181)		0.2%	0.9%	94.2%	3.2%		1.5%
県南(27,135)	1.2%	5.0%	6.0%	3.9%	73.9%	1.1%	8.9%
両毛(17,811)					3.8%	90.0%	6.2%

(厚生労働省提供「二次医療圏別受療動向分析ツール」分析結果)

*近隣県からの流入状況(端数処理のため、合計は上表と一致しない)

- 県北: 福島県1.0%、茨城県0.8%、群馬県0.0%、埼玉県0.1%、千葉県0.2%、東京都0.4%
- 県西: 福島県0.3%、群馬県0.5%、埼玉県0.1%、千葉県0.1%、東京都0.2%
- 宇都宮: 福島県0.5%、茨城県0.2%、群馬県0.0%、埼玉県0.3%、千葉県0.1%、東京都0.4%
- 県東: 茨城県1.5%、
- 県南: 福島県0.2%、茨城県7.3%、群馬県0.3%、埼玉県0.8%、千葉県0.1%、東京都0.3%
- 両毛: 茨城県0.1%、群馬県5.6%、埼玉県0.2%、東京都0.3%

読み取り結果

県北、県西、県東、両毛医療圏は90%以上が医療圏内の患者である。一方宇都宮、県南医療圏では約25%が他医療圏の患者である。

医療機能別に見た入院患者の医療需要(脳卒中) (2013年度:実績、2025年度:推計)

[人/日]

医療圏	医療機能	入院医療機関住所		入院患者住所	医療圏	医療機能	入院医療機関住所		入院患者住所
		2013	2025	2025			2013	2025	2025
県北	高度急性期相当	—	—	10.3	県東	高度急性期相当	<10	<10	19.5
	急性期相当	35.4	42.5	51.0		急性期相当	18.4	21.6	48.4
	回復期相当	30.1	37.4	41.8		回復期相当	15.2	18.2	36.1
県西	高度急性期相当	—	—	—	県南	高度急性期相当	118.9	122.6	56.2
	急性期相当	14.9	17.9	26.1		急性期相当	268.8	286.4	139.3
	回復期相当	13.1	15.7	19.6		回復期相当	225.8	244.4	118.4
宇都宮	高度急性期相当	14.5	18.3	18.0	両毛	高度急性期相当	25.0	26.2	31.6
	急性期相当	57.3	75.4	68.6		急性期相当	66.5	71.4	81.0
	回復期相当	38.9	53.8	47.9		回復期相当	51.8	55.5	64.3

【医療機能】1日あたりの入院医療費(入院基本料等除く)による区分。(厚生労働省提供「必要病床数等推計ツール」分析結果)

高度急性期は3000一点、急性期は600-3000点、回復期は175-600点に相当する。

【医療需要】H25年度の全保険者のNDBレセプト、DPC、公費負担、分娩、労災、自賠責等、住民基本台帳人口、将来推計人口等のデータを用いて、 $\Sigma(H25入院受療率 \times 将来推計人口)$ などにより推計。

入院患者住所で見た受療動向 (急性心筋梗塞、全年齢)

入院患者住所 (総レセプト件数)	入院医療機関住所						
	県北	県西	宇都宮	県東	県南	両毛	他県*
県北(1,403)	84.7%		12.4%		2.1%		0.8%
県西(926)		71.6%	8.9%		19.5%		
宇都宮(1,858)	0.5%	0.6%	89.0%	0.5%	9.3%		
県東(497)	2.4%		10.1%	73.4%	10.7%		3.4%
県南(1,672)			5.9%		86.7%	2.2%	5.2%
両毛(1,082)					1.8%	92.2%	6.0%

(厚生労働省提供「二次医療圏別受療動向分析ツール」分析結果)

*近隣県への流出状況(端数処理のため、合計は上表と一致しない)

県北:福島県0.9%
 県東:茨城県3.4%
 県南:茨城県3.9%、埼玉県0.6%、東京都0.7%
 両毛:群馬県5.9%

読み取り結果

両毛医療圏は90%以上、県北、宇都宮、県南医療圏は80%以上、県東、県西医療圏では70%以上が居住医療圏内入院。
 県西医療圏居住者の約20%が県南医療圏に流出している。

入院医療機関住所で見た受療動向 (急性心筋梗塞、全年齢)

入院医療機関住所 (総レセプト件数)	入院患者住所						
	県北	県西	宇都宮	県東	県南	両毛	他県*
県北(1,273)	93.3%		0.8%		0.9%		5.0%
県西(674)		98.4%	1.6%				
宇都宮(2,059)	8.5%	4.0%	80.3%	2.4%	4.8%		
県東(388)			2.6%	94.1%			3.3%
県南(2,099)	1.4%	8.6%	8.2%	2.5%	69.1%	1.0%	9.2%
両毛(1,137)					3.3%	87.8%	8.9%

(厚生労働省提供「二次医療圏別受療動向分析ツール」分析結果)

*近隣県からの流入状況(端数処理のため、合計は上表と一致しない)

県北:福島県2.0%、茨城県1.9%
 県東:茨城県3.4%
 県南:茨城県7.6%、群馬県0.5%、埼玉県1.1%
 両毛:茨城県1.1%、群馬県7.8%

読み取り結果

県北、県西、県東医療圏は90%以上、宇都宮、両毛医療圏は80%以上が医療圏内の患者。一方県南医療圏は約30%が他医療圏からの流入している。

医療機能別に見た入院患者の医療需要(循環器疾患) (2013年度:実績、2025年度:推計)

[人/日]

医療圏	医療機能	入院医療機関住所		入院患者住所	医療圏	医療機能	入院医療機関住所		入院患者住所
		2013	2025	2025			2013	2025	2025
県北	高度急性期相当	16.1	18.8	27.7	県東	高度急性期相当	—	—	—
	急性期相当	46.4	56.0	72.5		急性期相当	12.7	14.8	22.0
	回復期相当	30.7	27.6	46.7		回復期相当	—	—	13.9
県西	高度急性期相当	—	10.4	16.0	県南	高度急性期相当	47.4	53.9	25.6
	急性期相当	37.3	44.7	53.4		急性期相当	110.0	130.7	69.3
	回復期相当	19.0	23.0	33.7		回復期相当	85.0	101.7	54.6
宇都宮	高度急性期相当	24.9	30.9	35.3	両毛	高度急性期相当	24.4	27.1	26.0
	急性期相当	50.8	68.0	83.5		急性期相当	35.0	39.7	41.2
	回復期相当	32.4	45.6	59.4		回復期相当	18.8	22.4	25.7

【医療機能】1日あたりの入院医療費(入院基本料等除く)による区分。(厚生労働省提供「必要病床数等推計ツール」分析結果)
高度急性期は3000点、急性期は600-3000点、回復期は175-600点に相当する。

【医療需要】H25年度の全保険者のNDBレセプト、DPC、公費負担、分娩、労災、自賠責等、住民基本台帳人口、将来推計人口等のデータを用いて、 $\Sigma(H25入院受療率 \times 将来推計人口)$ などにより推計。

栃木県脳卒中・急性心筋梗塞対策協議会委員名簿

平成 26 年 7 月 1 日～平成 29 年 6 月 30 日

NO	分 類	役 職	委員名	備考
1	栃木県理学療法士会	会長	大屋 晴嗣	H27～
2	自治医科大学循環器内科学部門	教授	苅尾 七臣	
3	栃木県栄養士会	会長	桑 まり子	
4	栃木県作業療法士会	会長	黒淵 永寿	
5	栃木県消防長会	会長	小池 光則	
6	栃木県食生活改善推進員協議会	会長	鈴木美恵子	
7	栃木県市町村保健師業務研究会（茂木町）	課長補佐	田中 和枝	
8	専門医療機関（済生会宇都宮病院）	科長	中務 正志	
9	日本脳卒中協会栃木県支部	支部長	平田 幸一	
10	栃木県薬剤師会	常務理事	廣田 孝之	
11	専門医療機関（藤井脳神経外科病院）	理事長	藤井 卓	
12	栃木県看護協会	常任理事	馬込 公子	
13	栃木県歯科医師会	副会長	宮下 均	
14	栃木県医師会	常任理事	宮原 保之	
15	栃木産業保健総合支援センター	所長	武藤 孝司	
16	とちぎケアマネジャー協会	理事	山本 晃子	

(五十音順、敬称略)

表01 栃木県における医療需要の推計値(医療機関所在地)

(単位:人/日)

		2013年	2025年	2030年	2035年	2040年
全圏域	高度急性期	1,217	1,296	1,303	1,290	1,261
	急性期	3,669	4,199	4,365	4,398	4,326
	回復期	3,877	4,661	4,950	5,036	4,966
	慢性期	3,141	2,913	3,171	3,264	3,215
	在宅医療等	12,254	17,285	19,685	20,735	20,506
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分	4,966	6,705	7,697	8,101	7,990
	小計	24,158	30,354	33,474	34,723	34,274
県北	高度急性期	158	174	178	179	176
	急性期	564	647	685	702	693
	回復期	692	830	893	923	913
	慢性期	477	461	510	535	527
	在宅医療等	2,183	2,822	3,224	3,479	3,478
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分	694	859	988	1,073	1,074
	小計	4,074	4,934	5,490	5,818	5,787
県西	高度急性期	69	79	81	80	78
	急性期	308	358	376	381	372
	回復期	274	322	343	349	341
	慢性期	349	250	272	281	274
	在宅医療等	966	1,316	1,444	1,496	1,461
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分	92	106	116	120	117
	小計	1,966	2,325	2,516	2,587	2,526
宇都宮	高度急性期	281	327	337	340	339
	急性期	936	1,136	1,198	1,218	1,216
	回復期	934	1,226	1,330	1,369	1,370
	慢性期	1,138	1,074	1,178	1,217	1,217
	在宅医療等	2,985	5,012	5,792	6,114	6,133
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分	1,225	1,862	2,176	2,304	2,307
	小計	6,274	8,775	9,835	10,258	10,275
県東	高度急性期	44	46	47	47	45
	急性期	192	211	226	232	227
	回復期	156	180	200	209	205
	慢性期	174	142	159	170	168
	在宅医療等	765	951	1,097	1,195	1,188
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分	220	262	299	321	318
	小計	1,331	1,530	1,729	1,853	1,833
県南	高度急性期	519	515	506	494	479
	急性期	1,217	1,353	1,377	1,371	1,344
	回復期	1,363	1,586	1,651	1,662	1,635
	慢性期	489	527	575	594	587
	在宅医療等	2,974	4,089	4,685	4,968	4,932
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分	1,447	1,974	2,270	2,404	2,383
	小計	6,562	8,070	8,794	9,089	8,977
両毛	高度急性期	146	155	154	150	144
	急性期	452	494	503	494	474
	回復期	458	517	533	524	502
	慢性期	514	459	477	467	442
	在宅医療等	2,381	3,095	3,443	3,483	3,314
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分	1,288	1,642	1,848	1,879	1,791
	小計	3,951	4,720	5,110	5,118	4,876

* 色をつけた箇所が将来推移の中で最大値(ピーク)となるもの

表02 栃木県における医療需要の推計値(患者住所地)

(単位:人/日)

		2025年	2030年	2035年	2040年
全圏域	高度急性期	1,232	1,244	1,233	1,206
	急性期	4,088	4,260	4,298	4,227
	回復期	4,546	4,839	4,934	4,866
	慢性期	2,988	3,261	3,361	3,310
	在宅医療等	17,159	19,544	20,608	20,383
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分	6,498	7,466	7,879	7,774
	小計	30,013	33,148	34,433	33,992
県北	高度急性期	244	248	247	241
	急性期	836	875	890	877
	回復期	921	985	1,015	1,003
	慢性期	509	557	582	573
	在宅医療等	2,868	3,275	3,537	3,536
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分	887	1,022	1,111	1,114
	小計	5,378	5,940	6,271	6,231
県西	高度急性期	134	133	129	124
	急性期	480	493	491	475
	回復期	487	506	506	491
	慢性期	289	313	321	312
	在宅医療等	1,537	1,682	1,741	1,698
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分	258	284	295	287
	小計	2,927	3,127	3,188	3,101
宇都宮	高度急性期	348	359	363	363
	急性期	1,066	1,129	1,156	1,161
	回復期	1,171	1,270	1,311	1,318
	慢性期	885	983	1,021	1,026
	在宅医療等	4,920	5,709	6,035	6,064
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分	1,906	2,238	2,374	2,381
	小計	8,390	9,450	9,886	9,932
県東	高度急性期	84	84	82	79
	急性期	298	311	315	306
	回復期	306	328	338	330
	慢性期	190	211	224	221
	在宅医療等	1,063	1,224	1,331	1,323
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分	310	356	385	382
	小計	1,941	2,159	2,291	2,259
県南	高度急性期	259	260	256	250
	急性期	898	936	944	929
	回復期	1,109	1,184	1,211	1,196
	慢性期	659	719	744	736
	在宅医療等	3,906	4,487	4,773	4,741
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分	1,740	2,008	2,139	2,121
	小計	6,831	7,586	7,929	7,851
両毛	高度急性期	163	161	155	148
	急性期	510	515	502	480
	回復期	552	565	553	527
	慢性期	456	477	469	442
	在宅医療等	2,865	3,167	3,190	3,021
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分	1,397	1,558	1,574	1,489
	小計	4,546	4,886	4,869	4,618

* 色をつけた箇所が将来推移の中で最大値(ピーク)となるもの

表03 栃木県における必要病床数の推計値（医療機関所在地）

（単位：床）

		2025年	2030年	2035年	2040年
全圏域	高度急性期	1,728	1,739	1,719	1,680
	急性期	5,385	5,598	5,639	5,545
	回復期	5,179	5,499	5,599	5,518
	慢性期	3,166	3,447	3,547	3,494
	計	15,458	16,283	16,504	16,237
県北	高度急性期	232	238	239	234
	急性期	830	879	900	888
	回復期	922	992	1,026	1,015
	慢性期	501	554	581	573
	計	2,485	2,663	2,746	2,710
県西	高度急性期	105	108	107	104
	急性期	459	483	488	477
	回復期	358	381	388	379
	慢性期	272	296	305	298
	計	1,194	1,268	1,288	1,258
宇都宮	高度急性期	437	450	454	452
	急性期	1,457	1,535	1,562	1,559
	回復期	1,363	1,478	1,522	1,522
	慢性期	1,167	1,281	1,322	1,322
	計	4,424	4,744	4,860	4,855
県東	高度急性期	61	63	62	60
	急性期	271	290	298	291
	回復期	200	222	233	228
	慢性期	154	173	185	183
	計	686	748	778	762
県南	高度急性期	687	675	658	638
	急性期	1,735	1,766	1,758	1,723
	回復期	1,762	1,834	1,847	1,816
	慢性期	573	625	646	638
	計	4,757	4,900	4,909	4,815
両毛	高度急性期	206	205	199	192
	急性期	633	645	633	607
	回復期	574	592	583	558
	慢性期	499	518	508	480
	計	1,912	1,960	1,923	1,837

* 色をつけた箇所が将来推移の中で最大値（ピーク）となるもの

表04 栃木県における必要病床数の推計値（患者住所地）

(単位:床)

		2025年	2030年	2035年	2040年
全圏域	高度急性期	1,643	1,657	1,645	1,608
	急性期	5,238	5,462	5,510	5,420
	回復期	5,051	5,377	5,482	5,407
	慢性期	3,248	3,545	3,653	3,598
	計	15,180	16,041	16,290	16,032
県北	高度急性期	326	330	329	322
	急性期	1,071	1,122	1,141	1,124
	回復期	1,024	1,095	1,128	1,115
	慢性期	553	606	633	623
	計	2,974	3,153	3,231	3,184
県西	高度急性期	178	177	173	166
	急性期	615	632	629	609
	回復期	541	562	563	546
	慢性期	315	340	349	339
	計	1,649	1,711	1,714	1,660
宇都宮	高度急性期	464	478	484	484
	急性期	1,366	1,448	1,482	1,488
	回復期	1,301	1,411	1,457	1,465
	慢性期	961	1,068	1,109	1,115
	計	4,092	4,405	4,532	4,552
県東	高度急性期	112	112	110	106
	急性期	382	399	404	393
	回復期	340	365	375	366
	慢性期	206	230	244	240
	計	1,040	1,106	1,133	1,105
県南	高度急性期	345	346	342	333
	急性期	1,151	1,200	1,210	1,191
	回復期	1,232	1,316	1,345	1,329
	慢性期	717	782	809	800
	計	3,445	3,644	3,706	3,653
両毛	高度急性期	218	214	207	197
	急性期	653	661	644	615
	回復期	613	628	614	586
	慢性期	496	519	509	481
	計	1,980	2,022	1,974	1,879

* 色をつけた箇所が将来推移の中で最大値(ピーク)となるもの

表05 栃木県における主要診断群(MDC)別の医療需要及び必要病床数の推計値(2025)

【01神経系疾患】

	医療機能	医療需要(人/日)			必要病床数(床)			充足率 B/C (%)	伸び率 B/A (%)
		A 2013年度	B 2025年度 (医療機関所在地)	C 2025年度 (患者住所地)	D 2013年度	E 2025年度 (医療機関所在地)	F 2025年度 (患者住所地)		
全圏域	高度急性期	85.9	94.1	92.5	114.5	125.5	123.3	101.8%	109.6%
	急性期	337.9	398.5	387.6	433.2	510.9	497.0	102.8%	117.9%
	回復期	234.4	288.5	284.6	260.4	320.5	316.2	101.4%	123.1%
	慢性期								
	在宅医療等	54.6	70.6	67.4				104.8%	129.4%
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分								
	小計	712.7	851.8	832.2	808.1	957.0	936.6	102.4%	119.5%
県北	高度急性期	12.6	14.2	19.2	16.9	18.9	25.6	74.0%	112.2%
	急性期	54.9	63.7	79.3	70.4	81.6	101.7	80.3%	116.0%
	回復期	43.2	53.1	63.6	48.0	59.0	70.7	83.4%	122.8%
	慢性期								
	在宅医療等	15.9	19.6	21.0				93.7%	123.6%
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分								
	小計	126.7	150.6	183.1	135.3	159.5	197.9	82.2%	118.9%
県西	高度急性期	0.0	0.0	10.3	0.0	0.0	13.7		
	急性期	20.8	24.9	37.1	26.7	31.9	47.6	67.0%	119.4%
	回復期	19.4	23.1	28.0	21.6	25.7	31.1	82.5%	119.2%
	慢性期								
	在宅医療等	0.0	0.0	0.0					
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分								
	小計	40.2	48.0	75.4	48.3	57.6	92.4	63.6%	119.3%
宇都宮	高度急性期	22.4	26.9	28.3	29.9	35.9	37.7	95.2%	120.0%
	急性期	82.4	105.4	101.9	105.7	135.1	130.7	103.3%	127.8%
	回復期	55.9	76.1	72.9	62.1	84.6	81.0	104.4%	136.1%
	慢性期								
	在宅医療等	18.3	25.3	21.4				118.2%	138.4%
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分								
	小計	179.0	233.7	224.5	197.7	255.5	249.3	104.1%	130.5%
県東	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	19.1	21.8	31.4	24.5	27.9	40.2	69.5%	114.2%
	回復期	12.7	14.6	19.6	14.1	16.2	21.7	74.5%	115.0%
	慢性期								
	在宅医療等	0.0	0.0	0.0					
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分								
	小計	31.8	36.4	50.9	38.6	44.1	62.0	71.4%	114.5%
県南	高度急性期	37.5	39.0	20.5	50.0	51.9	27.3	190.0%	103.9%
	急性期	113.8	131.2	86.6	145.9	168.2	111.1	151.4%	115.2%
	回復期	77.2	91.9	69.1	85.7	102.2	76.8	133.0%	119.1%
	慢性期								
	在宅医療等	20.4	25.7	25.0				102.6%	125.8%
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分								
	小計	248.9	287.7	201.3	281.6	322.3	215.2	142.9%	115.6%
両毛	高度急性期	13.3	14.1	14.3	17.8	18.8	19.1	98.4%	105.8%
	急性期	46.9	51.7	51.3	60.1	66.3	65.7	100.8%	110.3%
	回復期	26.0	29.7	31.4	28.9	33.0	34.9	94.5%	114.1%
	慢性期								
	在宅医療等	0.0	0.0	0.0					
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分								
	小計	86.2	95.4	97.0	106.7	118.0	119.7	98.4%	110.8%

【02眼科系疾患】

	医療機能	医療需要(人/日)			必要病床数(床)			充足率 B/C (%)	伸び率 B/A (%)
		A 2013年度	B 2025年度 (医療機関所在地)	C 2025年度 (患者住所地)	D 2013年度	E 2025年度 (医療機関所在地)	F 2025年度 (患者住所地)		
全圏域	高度急性期	29.6	35.5	37.8	39.4	47.3	50.4	93.9%	120.0%
	急性期	21.6	23.6	22.6	27.7	30.3	28.9	104.7%	109.5%
	回復期	43.6	49.0	43.3	48.4	54.4	48.1	113.2%	112.5%
	慢性期								
	在宅医療等	0.0	10.2	0.0					
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分								
	小計	94.7	118.3	103.6	115.5	132.0	127.4	114.1%	124.9%
県北	高度急性期	0.0	0.0	10.6	0.0	0.0	14.1		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	11.8	0.0	0.0	13.1		
	慢性期								
	在宅医療等	0.0	0.0	0.0					
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分								
	小計	0.0	0.0	22.4	0.0	0.0	27.2		
県西	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期								
	在宅医療等	0.0	0.0	0.0					
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分								
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
宇都宮	高度急性期	14.0	17.7	16.9	18.6	23.6	22.5	104.8%	127.0%
	急性期	0.0	0.0	10.5	0.0	0.0	13.4		
	回復期	15.6	19.1	16.6	17.4	21.3	18.5	114.9%	122.3%
	慢性期								
	在宅医療等	0.0	0.0	0.0					
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分								
	小計	29.6	36.8	44.0	36.0	44.9	54.5	83.7%	124.5%
県東	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期								
	在宅医療等	0.0	0.0	0.0					
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分								
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
県南	高度急性期	15.6	17.8	10.3	20.8	23.7	13.7	172.4%	113.8%
	急性期	21.6	23.6	12.1	27.7	30.3	15.5	195.5%	109.5%
	回復期	27.9	29.9	14.8	31.0	33.2	16.5	201.7%	107.0%
	慢性期								
	在宅医療等	0.0	10.2	0.0					
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分								
	小計	65.1	81.4	37.2	79.5	87.2	45.7	218.9%	125.1%
両毛	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期								
	在宅医療等	0.0	0.0	0.0					
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分								
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

(注) 高度急性期、急性期、回復期までの数値は全体のうち約8割のデータについて分析、在宅医療等の数値は全体のうち約1割のデータの分析である。
慢性期及び在宅医療等のうち訪問診療分については、データに病名がないため疾病分類別の値はなし
10未満の数については、特定の個人が第三者に識別されることを防ぐため「0.0(セルに網掛けあり)」で表記
全圏域の計、及び各圏域の小計欄の数値は、10以上の数値の合計値であり、10未満の数値を含まない

【03耳鼻咽喉科系疾患】

	医療機能	医療需要(人/日)			必要病床数(床)			充足率 B/C (%)	伸び率 B/A (%)
		A 2013年度	B 2025年度 (医療機関所在地)	C 2025年度 (患者住所地)	D 2013年度	E 2025年度 (医療機関所在地)	F 2025年度 (患者住所地)		
全圏域	高度急性期	13.5	12.7	0.0	18.0	16.9	0.0		94.2%
	急性期	51.2	51.0	43.9	65.6	65.3	56.3	115.9%	99.5%
	回復期	38.4	38.9	24.4	42.7	43.3	27.1	159.7%	101.3%
	慢性期								
	在宅医療等								
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分								
	小計	103.1	102.6	68.3	126.3	125.5	83.4	150.1%	99.5%
県北	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	11.8	0.0	0.0	15.1		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期								
	在宅医療等	0.0	0.0	0.0					
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分								
	小計	0.0	0.0	11.8	0.0	0.0	15.1		
県西	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等	0.0	0.0	0.0					
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分								
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
宇都宮	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	19.7	20.2	20.1	25.2	25.9	25.7	100.5%	102.6%
	回復期	10.1	10.9	12.4	11.2	12.1	13.7	87.9%	108.0%
	慢性期								
	在宅医療等	0.0	0.0	0.0					
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分								
	小計	29.7	31.1	32.5	36.4	38.0	39.5	95.7%	104.4%
県東	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期								
	在宅医療等	0.0	0.0	0.0					
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分								
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
県南	高度急性期	13.5	12.7	0.0	18.0	16.9	0.0		94.2%
	急性期	31.5	30.8	12.1	40.4	39.5	15.5	254.1%	97.6%
	回復期	28.3	28.0	12.0	31.5	31.2	13.3	233.8%	98.9%
	慢性期								
	在宅医療等	0.0	0.0	0.0					
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分								
	小計	73.4	71.5	24.1	89.9	87.5	28.9	296.6%	97.5%
両毛	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期								
	在宅医療等	0.0	0.0	0.0					
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分								
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

【04呼吸器系疾患】

	医療機能	医療需要(人/日)			必要病床数(床)			充足率 B/C (%)	伸び率 B/A (%)
		A 2013年度	B 2025年度 (医療機関所在地)	C 2025年度 (患者住所地)	D 2013年度	E 2025年度 (医療機関所在地)	F 2025年度 (患者住所地)		
全圏域	高度急性期	121.2	144.1	143.8	161.6	192.1	191.8	100.2%	118.9%
	急性期	535.6	650.1	636.2	686.6	833.4	815.6	102.2%	121.4%
	回復期	421.9	540.5	536.5	468.7	600.6	596.1	100.8%	128.1%
	慢性期								
	在宅医療等	128.4	174.7	176.9					98.7%
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分								
	小計	1,207.0	1,509.5	1,493.5	1,317.0	1,626.2	1,603.5	101.1%	125.1%
県北	高度急性期	20.5	23.3	28.5	27.3	31.1	38.0	82.0%	113.9%
	急性期	91.2	111.0	127.9	116.9	142.3	164.0	86.8%	121.7%
	回復期	61.8	77.1	87.9	68.7	85.7	97.7	87.7%	124.7%
	慢性期								
	在宅医療等	24.6	30.7	34.9					88.0%
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分								
	小計	198.2	242.2	279.2	213.0	259.1	299.6	86.7%	122.2%
県西	高度急性期	0.0	10.5	17.0	0.0	14.0	22.7	61.6%	
	急性期	58.4	71.8	85.5	74.9	92.0	109.6	84.0%	122.9%
	回復期	47.8	58.4	70.3	53.2	64.9	78.1	83.1%	122.1%
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等	19.6	23.4	28.0					
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	125.9	164.0	200.7	128.0	170.9	210.3	81.7%	130.3%
宇都宮	高度急性期	28.8	36.2	38.2	38.5	48.3	50.9	94.8%	125.5%
	急性期	125.1	163.2	157.0	160.4	209.2	201.3	104.0%	130.5%
	回復期	94.4	136.0	131.4	104.9	151.1	146.0	103.5%	144.1%
	慢性期								
	在宅医療等	38.8	51.8	40.7					127.3%
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分								
	小計	287.1	387.2	367.2	303.7	408.6	398.2	105.4%	134.9%
県東	高度急性期	0.0	0.0	11.0	0.0	0.0	14.6	0.0%	
	急性期	45.2	50.2	58.6	58.0	64.3	75.1	85.6%	110.9%
	回復期	29.0	34.8	42.6	32.2	38.7	47.3	81.8%	120.3%
	慢性期								
	在宅医療等	0.0	11.7	14.9					78.8%
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分								
	小計	74.2	96.7	127.0	90.2	103.0	137.0	76.2%	130.4%
県南	高度急性期	55.2	55.3	31.1	73.6	73.7	41.4	177.9%	100.1%
	急性期	148.3	176.4	129.6	190.1	226.2	166.1	136.2%	119.0%
	回復期	132.0	165.2	132.5	146.7	183.6	147.3	124.7%	125.1%
	慢性期								
	在宅医療等	29.2	38.3	39.1					98.1%
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分								
	小計	364.7	435.2	332.2	410.4	483.4	354.8	131.0%	119.3%
両毛	高度急性期	16.7	18.8	18.1	22.2	25.1	24.1	103.9%	112.7%
	急性期	67.3	77.5	77.7	86.3	99.4	99.6	99.8%	115.1%
	回復期	56.8	69.0	71.8	63.1	76.7	79.8	96.0%	121.5%
	慢性期								
	在宅医療等	16.2	18.8	19.4					96.9%
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分								
	小計	157.0	184.2	187.1	171.7	201.1	203.6	98.4%	117.3%

(注) 高度急性期、急性期、回復期までの数値は全体のうち約8割のデータについて分析、在宅医療等の数値は全体のうち約1割のデータの分析である。
慢性期及び在宅医療等のうち訪問診療分については、データに病名がないため疾病分類別の値はなし
10未満の数については、特定の個人が第三者に識別されることを防ぐため「0.0(セルに網掛けあり)」で表記
全圏域の計、及び各圏域の小計欄の数値は、10以上の数値の合計値であり、10未満の数値を含まない

【05循環器疾患】

	医療機能	医療需要(人/日)			必要病床数(床)			充足率 B/C (%)	伸び率 B/A (%)
		A 2013年度	B 2025年度 (医療機関所在地)	C 2025年度 (患者住所地)	D 2013年度	E 2025年度 (医療機関所在地)	F 2025年度 (患者住所地)		
全圏域	高度急性期	112.8	141.1	130.6	150.5	188.2	174.2	108.0%	125.1%
	急性期	292.2	353.8	341.9	374.6	453.6	438.3	103.5%	121.1%
	回復期	185.9	230.3	234.1	206.5	255.9	260.1	98.4%	123.9%
	慢性期								
	在宅医療等 (再掲)在宅医療等のうち訪問診療分	53.8	70.3	68.8				102.3%	130.7%
	小計	644.7	795.6	775.4	731.6	897.7	872.6	102.6%	123.4%
県北	高度急性期	16.1	18.8	27.7	21.5	25.0	36.9	67.9%	116.7%
	急性期	46.4	56.0	72.5	59.5	71.8	93.0	77.2%	120.7%
	回復期	30.7	37.6	46.7	34.1	41.8	51.9	80.5%	122.6%
	慢性期								
	在宅医療等 (再掲)在宅医療等のうち訪問診療分	12.7	15.8	16.8				94.2%	124.4%
	小計	105.9	128.2	163.7	115.0	138.6	181.8	78.3%	121.1%
県西	高度急性期	0.0	10.4	16.0	0.0	13.9	21.4	64.9%	
	急性期	37.3	44.7	53.4	47.8	57.3	68.5	83.6%	119.8%
	回復期	19.0	23.0	33.7	21.2	25.6	37.5	68.2%	120.8%
	慢性期								
	在宅医療等 (再掲)在宅医療等のうち訪問診療分	10.4	12.3	13.3					
	小計	66.8	90.4	116.5	69.0	96.7	127.4	77.6%	135.4%
宇都宮	高度急性期	24.9	30.9	35.3	33.3	41.3	47.1	87.6%	124.0%
	急性期	50.8	68.0	83.5	65.1	87.1	107.0	81.4%	133.8%
	回復期	32.4	45.6	59.4	36.0	50.7	66.0	76.9%	141.0%
	慢性期								
	在宅医療等 (再掲)在宅医療等のうち訪問診療分	17.8	26.0	23.7				109.9%	146.0%
	小計	125.9	170.6	201.8	134.3	179.1	220.1	84.5%	135.4%
県東	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	12.7	14.8	22.0	16.3	19.0	28.2	67.3%	116.6%
	回復期	0.0	0.0	13.9	0.0	0.0	15.5		
	慢性期								
	在宅医療等 (再掲)在宅医療等のうち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	12.7	14.8	35.9	16.3	19.0	43.7	41.2%	116.6%
県南	高度急性期	47.4	53.9	25.6	63.2	71.9	34.2	210.3%	113.8%
	急性期	110.0	130.7	69.3	141.1	167.6	88.7	188.7%	118.8%
	回復期	85.0	101.7	54.6	94.4	113.0	60.7	186.2%	119.7%
	慢性期								
	在宅医療等 (再掲)在宅医療等のうち訪問診療分	12.8	16.2	15.0				108.0%	126.2%
	小計	255.2	302.5	164.5	298.6	352.4	183.6	183.9%	118.5%
両毛	高度急性期	24.4	27.1	26.0	32.6	36.1	34.6	104.3%	110.9%
	急性期	35.0	39.7	41.2	44.8	50.9	52.8	96.4%	113.5%
	回復期	18.8	22.4	25.7	20.9	24.9	28.6	86.9%	118.7%
	慢性期								
	在宅医療等 (再掲)在宅医療等のうち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	78.2	89.1	92.9	98.3	111.9	116.0	96.0%	113.9%

【06消化器系、肝臓・胆道・膵臓系疾患】

	医療機能	医療需要(人/日)			必要病床数(床)			充足率 B/C (%)	伸び率 B/A (%)
		A 2013年度	B 2025年度 (医療機関所在地)	C 2025年度 (患者住所地)	D 2013年度	E 2025年度 (医療機関所在地)	F 2025年度 (患者住所地)		
全圏域	高度急性期	205.2	238.2	229.1	273.6	317.6	305.4	104.0%	116.1%
	急性期	574.8	656.9	636.8	736.9	842.1	816.4	103.2%	114.3%
	回復期	434.3	503.2	490.5	482.5	559.1	545.0	102.6%	115.9%
	慢性期								
	在宅医療等 (再掲)在宅医療等のうち訪問診療分	161.5	189.6	202.2				93.8%	117.4%
	小計	1,375.7	1,587.8	1,558.6	1,493.0	1,718.9	1,666.8	101.9%	115.4%
県北	高度急性期	31.6	36.2	48.9	42.2	48.3	65.2	74.1%	114.5%
	急性期	93.2	108.9	140.6	119.5	139.6	180.3	77.4%	116.8%
	回復期	65.8	77.9	98.8	73.1	86.5	109.8	78.8%	118.3%
	慢性期								
	在宅医療等 (再掲)在宅医療等のうち訪問診療分	33.1	40.1	46.3				86.5%	121.0%
	小計	223.8	263.1	334.7	234.8	274.4	355.3	78.6%	117.6%
県西	高度急性期	12.8	14.0	24.3	17.0	18.7	32.3	57.9%	109.9%
	急性期	41.0	46.1	71.8	52.5	59.1	92.1	64.2%	112.6%
	回復期	29.9	34.1	55.1	33.2	37.9	61.2	61.9%	113.9%
	慢性期								
	在宅医療等 (再掲)在宅医療等のうち訪問診療分	19.5	22.2	27.3				81.5%	113.8%
	小計	103.2	116.5	178.5	102.8	115.7	185.6	65.3%	112.9%
宇都宮	高度急性期	55.1	65.2	64.0	73.5	86.9	85.3	101.8%	118.3%
	急性期	129.1	156.9	158.1	165.5	201.2	202.7	99.3%	121.6%
	回復期	88.3	109.4	117.0	98.1	121.6	130.0	93.5%	124.0%
	慢性期								
	在宅医療等 (再掲)在宅医療等のうち訪問診療分	50.8	61.1	51.1				119.6%	120.4%
	小計	323.2	392.7	390.2	337.1	409.7	418.0	100.6%	121.5%
県東	高度急性期	0.0	10.0	15.9	0.0	13.4	21.2	63.1%	
	急性期	28.5	32.2	45.1	36.6	41.2	57.8	71.4%	112.8%
	回復期	21.3	24.7	34.5	23.7	27.5	38.3	71.6%	116.0%
	慢性期								
	在宅医療等 (再掲)在宅医療等のうち訪問診療分	0.0	0.0	11.4					
	小計	49.8	66.9	106.8	60.2	82.1	117.3	62.6%	134.3%
県南	高度急性期	76.4	82.2	46.4	101.9	109.6	61.9	177.0%	107.6%
	急性期	200.3	224.0	134.3	256.8	287.2	172.2	166.7%	111.8%
	回復期	167.7	190.4	117.7	186.4	211.6	130.7	161.8%	113.5%
	慢性期								
	在宅医療等 (再掲)在宅医療等のうち訪問診療分	33.8	39.7	39.0				101.8%	117.3%
	小計	478.3	536.3	337.4	545.1	608.4	364.9	158.9%	112.1%
両毛	高度急性期	29.2	30.5	29.6	39.0	40.7	39.5	103.2%	104.5%
	急性期	82.7	88.7	86.9	106.0	113.8	111.4	102.2%	107.3%
	回復期	61.2	66.7	67.4	68.0	74.1	74.9	98.9%	108.9%
	慢性期								
	在宅医療等 (再掲)在宅医療等のうち訪問診療分	24.2	26.4	27.1				97.4%	109.1%
	小計	197.4	212.4	211.0	213.0	228.6	225.7	100.7%	107.6%

(注) 高度急性期、急性期、回復期までの数値は全体のうち約8割のデータについて分析、在宅医療等の数値は全体のうち約1割のデータの分析である。
慢性期及び在宅医療等のうち訪問診療分については、データに病名がないため疾病分類別の値はなし
10未満の数については、特定の個人が第三者に識別されることを防ぐため「0.0(セルに網掛けあり)」で表記
全圏域の計、及び各圏域の小計欄の数値は、10以上の数値の合計値であり、10未満の数値を含まない

【07筋骨格系疾患】

	医療機能	医療需要(人/日)			必要病床数(床)			充足率 B/C (%)	伸び率 B/A (%)
		A 2013年度	B 2025年度 (医療機関所在地)	C 2025年度 (患者住所地)	D 2013年度	E 2025年度 (医療機関所在地)	F 2025年度 (患者住所地)		
全圏域	高度急性期	35.2	37.2	35.1	46.9	49.6	46.8	106.1%	105.9%
	急性期	228.4	261.7	263.1	292.8	335.6	337.3	99.5%	114.6%
	回復期	211.9	260.5	253.8	235.4	289.4	282.0	102.6%	122.9%
	慢性期								
	在宅医療等	75.0	101.8	99.7				102.1%	135.8%
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分								
	小計	550.4	661.3	651.7	575.1	674.6	666.1	101.5%	120.1%
県北	高度急性期	0.0	0.0	10.5	0.0	0.0	14.0	0.0%	#DIV/0!
	急性期	25.2	29.2	55.9	32.3	37.5	71.6	52.3%	116.1%
	回復期	32.2	38.8	54.6	35.8	43.1	60.7	71.1%	120.5%
	慢性期								
	在宅医療等	16.7	20.4	24.6				82.9%	121.9%
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分								
	小計	74.1	88.4	145.6	68.1	80.6	146.3	60.7%	119.3%
県西	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	19.8	22.1	30.8	25.4	28.4	39.5	71.9%	111.5%
	回復期	16.9	19.1	25.1	18.8	21.2	27.9	76.0%	112.9%
	慢性期								
	在宅医療等	11.2	12.6	13.8				91.4%	112.8%
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分								
	小計	47.9	53.8	69.7	44.2	49.6	67.4	77.2%	112.3%
宇都宮	高度急性期	12.6	14.3	13.4	16.8	19.1	17.9	106.4%	113.7%
	急性期	81.7	97.6	69.9	104.7	125.1	89.6	139.6%	119.5%
	回復期	63.5	80.0	66.2	70.6	88.9	73.6	120.8%	126.0%
	慢性期								
	在宅医療等	29.9	37.0	27.2				136.1%	123.8%
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分								
	小計	187.7	228.9	176.8	192.1	233.1	181.2	129.5%	122.0%
県東	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	19.9	0.0	0.0	25.6		
	回復期	0.0	10.3	17.2	0.0	11.4	19.1	59.8%	
	慢性期								
	在宅医療等	0.0	0.0	0.0					
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分								
	小計	0.0	10.3	37.1	0.0	11.4	44.6	27.6%	
県南	高度急性期	22.6	22.9	11.1	30.1	30.6	14.8	206.4%	101.5%
	急性期	85.3	95.0	59.8	109.3	121.8	76.7	158.7%	111.4%
	回復期	76.8	87.5	60.2	85.4	97.2	66.9	145.3%	113.8%
	慢性期								
	在宅医療等	17.2	21.0	21.6				97.4%	122.3%
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分								
	小計	201.9	226.4	152.7	224.8	249.5	158.4	148.2%	112.1%
両毛	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	16.4	17.8	26.7	21.1	22.8	34.2	66.7%	108.4%
	回復期	22.4	24.8	30.5	24.9	27.6	33.9	81.2%	110.8%
	慢性期								
	在宅医療等	0.0	10.8	12.5				86.2%	
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分								
	小計	38.8	53.4	69.7	45.9	50.4	68.2	76.6%	137.6%

【08皮膚・皮下組織の疾患】

	医療機能	医療需要(人/日)			必要病床数(床)			充足率 B/C (%)	伸び率 B/A (%)
		A 2013年度	B 2025年度 (医療機関所在地)	C 2025年度 (患者住所地)	D 2013年度	E 2025年度 (医療機関所在地)	F 2025年度 (患者住所地)		
全圏域	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	16.2	17.4	0.0	20.8	22.3	0.0		107.3%
	回復期	15.4	17.6	10.6	17.2	19.5	11.8	165.2%	113.7%
	慢性期								
	在宅医療等	0.0	0.0	0.0					
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分								
	小計	31.7	35.0	10.6	37.9	41.8	11.8	329.0%	110.5%
県北	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期								
	在宅医療等	0.0	0.0	0.0					
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分								
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
県西	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期								
	在宅医療等	0.0	0.0	0.0					
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分								
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
宇都宮	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期								
	在宅医療等	0.0	0.0	0.0					
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分								
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
県東	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期								
	在宅医療等	0.0	0.0	0.0					
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分								
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
県南	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	16.2	17.4	0.0	20.8	22.3	0.0		107.3%
	回復期	15.4	17.6	10.6	17.2	19.5	11.8	165.2%	113.7%
	慢性期								
	在宅医療等	0.0	0.0	0.0					
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分								
	小計	31.7	35.0	10.6	37.9	41.8	11.8	329.0%	110.5%
両毛	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期								
	在宅医療等	0.0	0.0	0.0					
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分								
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

(注) 高度急性期、急性期、回復期までの数値は全体のうち約8割のデータについて分析、在宅医療等の数値は全体のうち約1割のデータの分析である。
慢性期及び在宅医療等のうち訪問診療分については、データに病名がないため疾病分類別の値はなし
10未満の数については、特定の個人が第三者に識別されることを防ぐため「0.0(セルに網掛けあり)」で表記
全圏域の計、及び各圏域の小計欄の数値は、10以上の数値の合計値であり、10未満の数値を含まない

【09乳房の疾患】

	医療機能	医療需要(人/日)			必要病床数(床)			充足率 B/C (%)	伸び率 B/A (%)
		A 2013年度	B 2025年度 (医療機関所在地)	C 2025年度 (患者住所地)	D 2013年度	E 2025年度 (医療機関所在地)	F 2025年度 (患者住所地)		
全圏域	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期								
	在宅医療等 (再掲)在宅医療等のうち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
県北	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期								
	在宅医療等 (再掲)在宅医療等のうち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
県西	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期								
	在宅医療等 (再掲)在宅医療等のうち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
宇都宮	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期								
	在宅医療等 (再掲)在宅医療等のうち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
県東	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期								
	在宅医療等 (再掲)在宅医療等のうち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
県南	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期								
	在宅医療等 (再掲)在宅医療等のうち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
両毛	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期								
	在宅医療等 (再掲)在宅医療等のうち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

【10内分泌・栄養・代謝に関する疾患】

	医療機能	医療需要(人/日)			必要病床数(床)			充足率 B/C (%)	伸び率 B/A (%)
		A 2013年度	B 2025年度 (医療機関所在地)	C 2025年度 (患者住所地)	D 2013年度	E 2025年度 (医療機関所在地)	F 2025年度 (患者住所地)		
全圏域	高度急性期	11.6	10.7	0.0	15.4	14.2	0.0		92.1%
	急性期	77.9	95.7	99.8	99.9	127.9	127.9	95.9%	122.9%
	回復期	89.8	101.9	105.2	99.7	113.2	116.9	96.9%	113.5%
	慢性期								
	在宅医療等 (再掲)在宅医療等のうち訪問診療分	26.4	31.7	39.1				81.1%	120.1%
	小計	205.7	240.0	244.1	215.0	250.2	244.8	98.3%	116.7%
県北	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	17.1	20.1	25.9	21.9	25.8	33.2	77.7%	117.6%
	回復期	16.3	19.8	24.5	18.1	22.0	27.2	80.7%	121.3%
	慢性期								
	在宅医療等 (再掲)在宅医療等のうち訪問診療分	0.0	0.0	11.0					
	小計	33.4	39.9	61.4	40.0	47.7	60.4	65.0%	119.4%
県西	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	12.7	0.0	0.0	16.3		
	回復期	0.0	0.0	12.3	0.0	0.0	13.7		
	慢性期								
	在宅医療等 (再掲)在宅医療等のうち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	30.0		
宇都宮	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	22.8	26.2	28.6	29.3	33.6	36.7	91.6%	114.8%
	回復期	18.9	24.2	29.4	21.0	26.8	32.7	82.2%	128.0%
	慢性期								
	在宅医療等 (再掲)在宅医療等のうち訪問診療分	12.7	16.6	15.0				111.1%	131.1%
	小計	54.4	67.0	73.0	50.2	60.5	69.3	91.8%	123.2%
県東	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期								
	在宅医療等 (再掲)在宅医療等のうち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
県南	高度急性期	11.6	10.7	0.0	15.4	14.2	0.0		92.1%
	急性期	38.0	39.3	22.1	48.7	50.3	28.4	177.5%	103.5%
	回復期	43.5	45.8	27.1	48.3	50.9	30.1	169.0%	105.3%
	慢性期								
	在宅医療等 (再掲)在宅医療等のうち訪問診療分	13.7	15.1	13.1				114.8%	109.9%
	小計	106.8	110.8	62.4	112.4	115.5	58.5	177.7%	103.8%
両毛	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	10.2	10.4	0.0	13.0	13.4	97.2%	
	回復期	11.1	12.1	11.9	12.3	13.5	13.2	102.0%	109.4%
	慢性期								
	在宅医療等 (再掲)在宅医療等のうち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	11.1	22.3	22.3	12.3	26.5	26.6	99.8%	200.9%

(注) 高度急性期、急性期、回復期までの数値は全体のうち約8割のデータについて分析、在宅医療等の数値は全体のうち約1割のデータの分析である。
慢性期及び在宅医療等のうち訪問診療分については、データに病名がないため疾病分類別の値はなし
10未満の数については、特定の個人が第三者に識別されることを防ぐため「0.0(セルに網掛けあり)」で表記
全圏域の計、及び各圏域の小計欄の数値は、10以上の数値の合計値であり、10未満の数値を含まない

【11腎・泌尿系疾患及び男性生殖器系疾患】

医療機能	医療需要(人/日)			必要病床数(床)			充足率 B/C (%)	伸び率 B/A (%)	
	A 2013年度	B 2025年度 (医療機関所在地)	C 2025年度 (患者住所地)	D 2013年度	E 2025年度 (医療機関所在地)	F 2025年度 (患者住所地)			
全圏域	高度急性期	50.1	66.6	57.9	66.8	88.8	77.2	115.1%	132.9%
	急性期	183.7	213.0	205.4	235.5	273.0	263.3	103.7%	116.0%
	回復期	150.0	188.3	183.6	166.6	209.2	204.0	102.6%	125.5%
	慢性期								
	在宅医療等	54.1	88.9	87.3				101.8%	164.3%
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分								
小計	437.9	556.7	534.1	468.9	571.0	544.4	104.2%	127.1%	
県北	高度急性期	0.0	11.0	16.9	0.0	14.6	22.5	64.9%	
	急性期	26.4	31.2	42.4	33.9	40.0	54.4	73.5%	118.0%
	回復期	22.2	26.8	36.7	24.6	29.7	40.8	72.9%	120.7%
	慢性期								
	在宅医療等	10.3	12.7	18.1				69.9%	122.4%
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分								
小計	58.9	81.5	114.1	58.5	84.3	117.7	71.5%	138.4%	
県西	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	13.7	15.8	20.8	17.5	20.2	26.7	75.7%	115.3%
	回復期	13.1	15.5	21.3	14.5	17.3	23.7	72.8%	118.6%
	慢性期								
	在宅医療等	0.0	10.1	12.6				80.0%	
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分								
小計	26.8	41.4	54.8	32.1	37.4	50.4	75.6%	154.7%	
宇都宮	高度急性期	20.9	25.2	24.2	27.8	33.5	32.3	103.8%	120.5%
	急性期	47.4	58.6	58.3	60.7	75.1	70.9	105.9%	123.6%
	回復期	39.8	50.5	49.9	44.2	56.1	55.4	101.1%	126.9%
	慢性期								
	在宅医療等	25.4	32.5	26.3				123.4%	127.7%
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分								
小計	133.4	166.6	155.7	132.7	164.7	158.7	107.0%	124.9%	
県東	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	10.1	11.3	14.6	12.9	14.5	18.8	77.4%	112.4%
	回復期	0.0	10.3	12.3	0.0	11.4	13.7	83.5%	
	慢性期								
	在宅医療等	0.0	0.0	0.0					
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分								
小計	10.1	21.6	26.9	12.9	25.9	32.4	80.2%	214.3%	
県南	高度急性期	29.2	30.5	16.8	39.0	40.7	22.3	182.0%	104.3%
	急性期	64.3	71.8	47.4	82.5	92.0	60.7	151.5%	111.6%
	回復期	58.2	66.4	42.5	64.6	73.8	47.2	156.2%	114.2%
	慢性期								
	在宅医療等	18.3	22.5	18.4				121.9%	122.5%
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分								
小計	170.1	191.1	125.1	186.1	206.5	130.3	152.8%	112.4%	
両毛	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	21.8	24.4	24.8	28.0	31.3	31.9	98.2%	111.8%
	回復期	16.8	18.8	20.8	18.6	20.9	23.1	90.4%	112.2%
	慢性期								
	在宅医療等	0.0	11.2	11.8				94.6%	
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分								
小計	38.6	54.4	57.5	46.6	52.2	55.0	94.6%	141.0%	

【12女性生殖器系疾患及び産褥期疾患・異常妊娠分娩】

医療機能	医療需要(人/日)			必要病床数(床)			充足率 B/C (%)	伸び率 B/A (%)	
	A 2013年度	B 2025年度 (医療機関所在地)	C 2025年度 (患者住所地)	D 2013年度	E 2025年度 (医療機関所在地)	F 2025年度 (患者住所地)			
全圏域	高度急性期	39.6	33.3	13.8	52.7	44.5	18.5	240.8%	84.3%
	急性期	299.2	279.1	269.7	383.6	357.8	345.8	103.5%	93.3%
	回復期	112.1	94.2	81.0	124.5	104.7	90.0	116.3%	84.0%
	慢性期								
	在宅医療等	14.6	12.6	18.0				70.0%	86.1%
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分								
小計	465.5	419.2	382.5	560.9	506.9	454.2	109.6%	90.1%	
県北	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	52.0	48.6	51.3	66.6	62.3	65.8	94.8%	93.6%
	回復期	21.8	18.1	19.3	24.3	20.1	21.4	93.6%	82.7%
	慢性期								
	在宅医療等	0.0	0.0	0.0					
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分								
小計	73.8	66.7	70.6	90.9	82.4	87.2	94.5%	90.3%	
県西	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	16.2	15.8	23.2	20.7	20.2	29.8	67.9%	97.5%
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期								
	在宅医療等	0.0	0.0	0.0					
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分								
小計	16.2	15.8	23.2	20.7	20.2	29.8	67.9%	97.5%	
宇都宮	高度急性期	13.2	11.5	13.8	17.6	15.4	18.5	83.1%	87.2%
	急性期	74.5	70.9	77.8	95.5	91.0	99.7	91.2%	95.2%
	回復期	25.6	21.4	29.2	28.4	23.8	32.4	73.3%	83.7%
	慢性期								
	在宅医療等	14.6	12.6	18.0				70.0%	86.1%
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分								
小計	127.9	116.4	138.8	141.5	130.1	150.6	83.9%	91.1%	
県東	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	16.2	15.6	17.5	20.8	20.0	22.4	89.1%	96.1%
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期								
	在宅医療等	0.0	0.0	0.0					
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分								
小計	16.2	15.6	17.5	20.8	20.0	22.4	89.1%	96.1%	
県南	高度急性期	26.3	21.8	0.0	35.1	29.1	0.0		82.8%
	急性期	104.6	95.6	69.6	134.2	122.6	89.2	137.4%	91.4%
	回復期	46.1	39.6	20.8	51.2	44.1	23.1	190.6%	86.1%
	慢性期								
	在宅医療等	0.0	0.0	0.0					
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分								
小計	177.1	157.1	90.4	220.5	195.7	112.3	173.8%	88.7%	
両毛	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	35.8	32.6	30.4	45.9	41.8	38.9	107.3%	91.1%
	回復期	18.6	15.1	11.7	20.7	16.8	13.0	128.9%	81.1%
	慢性期								
	在宅医療等	0.0	0.0	0.0					
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分								
小計	54.4	47.7	42.1	66.5	58.5	52.0	113.3%	87.7%	

(注) 高度急性期、急性期、回復期までの数値は全体のうち約8割のデータについて分析、在宅医療等の数値は全体のうち約1割のデータの分析である。
慢性期及び在宅医療等のうち訪問診療分については、データに病名がないため疾病分類別の値はなし
10未満の数については、特定の個人が第三者に識別されることを防ぐため「0.0(セルに網掛けあり)」で表記
全圏域の計、及び各圏域の小計欄の数値は、10以上の数値の合計値であり、10未満の数値を含まない

【13血液・造血器・免疫臓器の疾患】

	医療機能	医療需要(人/日)			必要病床数(床)			充足率 B/C (%)	伸び率 B/A (%)
		A 2013年度	B 2025年度 (医療機関所在地)	C 2025年度 (患者住所地)	D 2013年度	E 2025年度 (医療機関所在地)	F 2025年度 (患者住所地)		
全圏域	高度急性期	64.9	65.9	53.0	86.5	87.9	70.7	124.3%	101.6%
	急性期	100.2	111.4	105.7	128.5	142.8	135.5	105.4%	111.1%
	回復期	39.7	46.2	45.2	44.2	51.3	50.2	102.3%	116.2%
	慢性期								
	在宅医療等	11.5	13.5	0.0					118.2%
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分								
	小計	216.3	237.1	203.9	259.2	282.1	256.4	116.3%	109.6%
県北	高度急性期	0.0	0.0	14.0	0.0	0.0	18.6		
	急性期	12.4	14.8	23.0	15.9	18.9	29.5	64.2%	119.2%
	回復期	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	13.8	0.0%	
	慢性期								
	在宅医療等	0.0	0.0	0.0					
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分								
	小計	12.4	14.8	49.4	15.9	18.9	62.0	29.9%	119.2%
県西	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	13.5	0.0	0.0	17.3		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期								
	在宅医療等	0.0	0.0	0.0					
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分								
	小計	0.0	0.0	13.5	0.0	0.0	17.3		
宇都宮	高度急性期	16.1	18.3	21.7	21.5	24.4	28.9	84.5%	113.7%
	急性期	29.0	35.0	31.2	37.2	44.9	40.0	112.4%	120.6%
	回復期	15.5	19.6	18.5	17.2	21.7	20.6	105.7%	126.4%
	慢性期								
	在宅医療等	11.5	13.5	0.0					118.2%
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分								
	小計	72.1	86.5	71.4	75.9	91.1	89.5	121.1%	119.9%
県東	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期								
	在宅医療等	0.0	0.0	0.0					
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分								
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
県南	高度急性期	48.8	47.6	17.4	65.0	63.4	23.2	273.7%	97.6%
	急性期	47.4	48.7	22.5	60.7	62.5	28.8	216.8%	102.9%
	回復期	24.3	26.6	14.2	27.0	29.6	15.8	187.5%	109.7%
	慢性期								
	在宅医療等	0.0	0.0	0.0					
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分								
	小計	120.4	123.0	54.1	152.7	155.5	67.8	227.4%	102.1%
両毛	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	11.5	12.9	15.6	14.7	16.5	20.0	82.8%	112.4%
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期								
	在宅医療等	0.0	0.0	0.0					
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分								
	小計	11.5	12.9	15.6	14.7	16.5	20.0	82.8%	112.4%

【14新生児疾患・先天性奇形】

	医療機能	医療需要(人/日)			必要病床数(床)			充足率 B/C (%)	伸び率 B/A (%)
		A 2013年度	B 2025年度 (医療機関所在地)	C 2025年度 (患者住所地)	D 2013年度	E 2025年度 (医療機関所在地)	F 2025年度 (患者住所地)		
全圏域	高度急性期	76.3	49.1	35.0	101.7	65.5	46.6	140.5%	64.4%
	急性期	16.1	12.6	0.0	20.6	16.1	0.0		78.2%
	回復期	16.2	12.8	0.0	18.0	14.2	0.0		78.7%
	慢性期								
	在宅医療等	0.0	0.0	0.0					
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分								
	小計	108.6	74.5	35.0	140.4	95.9	46.6	213.0%	68.6%
県北	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期								
	在宅医療等	0.0	0.0	0.0					
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分								
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
県西	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期								
	在宅医療等	0.0	0.0	0.0					
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分								
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
宇都宮	高度急性期	11.9	0.0	20.8	15.8	0.0	27.7		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期								
	在宅医療等	0.0	0.0	0.0					
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分								
	小計	11.9	0.0	20.8	15.8	0.0	27.7		
県東	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期								
	在宅医療等	0.0	0.0	0.0					
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分								
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
県南	高度急性期	64.4	49.1	14.2	85.8	65.5	18.9	346.2%	76.3%
	急性期	16.1	12.6	0.0	20.6	16.1	0.0		78.2%
	回復期	16.2	12.8	0.0	18.0	14.2	0.0		78.7%
	慢性期								
	在宅医療等	0.0	0.0	0.0					
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分								
	小計	96.7	74.5	14.2	124.5	95.9	18.9	525.0%	77.0%
両毛	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期								
	在宅医療等	0.0	0.0	0.0					
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分								
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

(注) 高度急性期、急性期、回復期までの数値は全体のうち約8割のデータについて分析、在宅医療等の数値は全体のうち約1割のデータの分析である。
慢性期及び在宅医療等のうち訪問診療分については、データに病名がないため疾病分類別の値はなし
10未満の数については、特定の個人が第三者に識別されることを防ぐため「0.0(セルに網掛けあり)」で表記
全圏域の計、及び各圏域の小計欄の数値は、10以上の数値の合計値であり、10未満の数値を含まない

【15小児疾患】

	医療機能	医療需要(人/日)			必要病床数(床)			充足率 B/C (%)	伸び率 B/A (%)
		A 2013年度	B 2025年度 (医療機関所在地)	C 2025年度 (患者住所地)	D 2013年度	E 2025年度 (医療機関所在地)	F 2025年度 (患者住所地)		
全圏域	高度急性期								
	急性期								
	回復期								
	慢性期								
	在宅医療等								
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分								
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
県北	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期								
	在宅医療等	0.0	0.0	0.0					
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分								
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
県西	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期								
	在宅医療等	0.0	0.0	0.0					
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分								
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
宇都宮	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期								
	在宅医療等	0.0	0.0	0.0					
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分								
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
県東	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期								
	在宅医療等	0.0	0.0	0.0					
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分								
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
県南	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期								
	在宅医療等	0.0	0.0	0.0					
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分								
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
両毛	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期								
	在宅医療等	0.0	0.0	0.0					
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分								
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

【16外傷・熱傷・中毒】

	医療機能	医療需要(人/日)			必要病床数(床)			充足率 B/C (%)	伸び率 B/A (%)
		A 2013年度	B 2025年度 (医療機関所在地)	C 2025年度 (患者住所地)	D 2013年度	E 2025年度 (医療機関所在地)	F 2025年度 (患者住所地)		
全圏域	高度急性期	47.9	64.4	48.4	63.8	85.9	64.5	133.1%	134.6%
	急性期	309.7	377.9	370.8	397.1	484.5	475.4	101.9%	122.0%
	回復期	316.5	400.2	395.2	351.7	444.7	439.1	101.3%	126.4%
	慢性期								
	在宅医療等	100.9	128.1	126.9				100.9%	126.9%
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分								
	小計	775.0	970.6	941.4	812.6	1,015.1	979.1	103.1%	125.2%
県北	高度急性期	10.4	11.6	14.1	13.8	15.5	18.8	82.7%	112.3%
	急性期	52.3	62.0	74.2	67.0	79.5	95.1	83.5%	118.6%
	回復期	51.3	62.6	71.0	57.0	69.5	78.9	88.1%	121.9%
	慢性期								
	在宅医療等	23.7	28.9	30.6					
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分								
	小計	137.6	165.1	189.9	137.9	164.5	192.8	86.9%	120.0%
県西	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	31.1	36.2	41.1	39.9	46.4	52.7	87.9%	116.3%
	回復期	26.5	31.6	37.4	29.5	35.1	41.5	84.5%	119.1%
	慢性期								
	在宅医療等	11.5	13.6	14.3				94.8%	117.8%
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分								
	小計	69.1	81.3	92.8	69.3	81.4	94.3	87.6%	117.6%
宇都宮	高度急性期	15.7	19.4	18.4	21.0	25.9	24.6	105.5%	123.7%
	急性期	81.8	109.3	96.2	104.9	140.1	123.3	113.6%	133.6%
	回復期	85.2	119.4	105.2	94.7	132.6	116.9	113.5%	140.0%
	慢性期								
	在宅医療等	25.7	36.0	33.3				108.1%	140.3%
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分								
	小計	208.4	284.1	253.1	220.5	298.7	264.8	112.2%	136.3%
県東	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	17.3	19.6	26.0	22.2	25.1	33.3	75.5%	113.0%
	回復期	19.9	22.5	26.3	22.1	25.0	29.3	85.6%	113.1%
	慢性期								
	在宅医療等	0.0	0.0	0.0					
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分								
	小計	37.3	42.1	52.3	44.4	50.2	62.5	80.6%	113.1%
県南	高度急性期	21.8	23.3	15.9	29.0	31.0	21.2	146.6%	107.0%
	急性期	89.5	107.2	89.6	114.7	137.4	114.9	119.6%	119.8%
	回復期	95.0	118.8	110.5	105.5	132.0	122.8	107.5%	125.1%
	慢性期								
	在宅医療等	29.7	37.2	36.5				102.0%	125.4%
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分								
	小計	235.9	286.5	252.5	249.2	300.4	258.8	113.4%	121.4%
両毛	高度急性期	0.0	10.0	0.0	0.0	13.4	0.0		
	急性期	37.7	43.7	43.7	48.4	56.0	56.1	99.9%	115.8%
	回復期	38.6	45.4	44.8	42.9	50.4	49.8	101.3%	117.6%
	慢性期								
	在宅医療等	10.4	12.3	12.1				101.5%	118.8%
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分								
	小計	86.7	111.4	100.7	91.2	119.8	105.8	110.7%	128.5%

(注) 高度急性期、急性期、回復期までの数値は全体のうち約8割のデータについて分析、在宅医療等の数値は全体のうち約1割のデータの分析である。
慢性期及び在宅医療等のうち訪問診療分については、データに病名がないため疾病分類別の値はなし
10未満の数については、特定の個人が第三者に識別されることを防ぐため「0.0(セルに網掛けあり)」で表記
全圏域の計、及び各圏域の小計欄の数値は、10以上の数値の合計値であり、10未満の数値を含まない

【17精神疾患】

	医療機能	医療需要(人/日)			必要病床数(床)			充足率 B/C (%)	伸び率 B/A (%)
		A 2013年度	B 2025年度 (医療機関所在地)	C 2025年度 (患者住所地)	D 2013年度	E 2025年度 (医療機関所在地)	F 2025年度 (患者住所地)		
全圏域	高度急性期								
	急性期								
	回復期								
	慢性期								
	在宅医療等								
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分								
	小計								
県北	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期								
	在宅医療等	0.0	0.0	0.0					
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分								
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
県西	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期								
	在宅医療等	0.0	0.0	0.0					
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分								
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
宇都宮	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期								
	在宅医療等	0.0	0.0	0.0					
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分								
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
県東	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期								
	在宅医療等	0.0	0.0	0.0					
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分								
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
県南	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期								
	在宅医療等	0.0	0.0	0.0					
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分								
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
両毛	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期								
	在宅医療等	0.0	0.0	0.0					
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分								
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

【18その他の疾患】

	医療機能	医療需要(人/日)			必要病床数(床)			充足率 B/C (%)	伸び率 B/A (%)
		A 2013年度	B 2025年度 (医療機関所在地)	C 2025年度 (患者住所地)	D 2013年度	E 2025年度 (医療機関所在地)	F 2025年度 (患者住所地)		
全圏域	高度急性期	11.9	12.6	0.0	15.9	16.7	0.0		105.2%
	急性期	73.2	87.5	91.5	93.9	112.2	117.3	95.7%	119.6%
	回復期	29.2	35.3	43.9	32.5	39.2	48.8	80.4%	120.7%
	慢性期								
	在宅医療等	0.0	0.0	0.0					
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分								
	小計	114.4	135.4	135.4	142.3	168.2	166.1	100.0%	118.3%
県北	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	14.0	16.8	21.6	17.9	21.5	27.7	77.6%	120.3%
	回復期	0.0	0.0	13.1	0.0	0.0	14.5		
	慢性期								
	在宅医療等	0.0	0.0	0.0					
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分								
	小計	14.0	16.8	34.7	17.9	21.5	42.2	48.4%	120.3%
県西	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	10.6	0.0	0.0	13.6		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期								
	在宅医療等	0.0	0.0	0.0					
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分								
	小計	0.0	0.0	10.6	0.0	0.0	13.6		
宇都宮	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	20.9	27.3	26.5	26.8	35.0	34.0	103.2%	130.6%
	回復期	12.9	16.9	16.2	14.3	18.7	18.0	103.9%	131.0%
	慢性期								
	在宅医療等	0.0	0.0	0.0					
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分								
	小計	33.8	44.2	42.7	41.1	53.8	52.0	103.5%	130.7%
県東	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期								
	在宅医療等	0.0	0.0	0.0					
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分								
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
県南	高度急性期	11.9	12.6	0.0	15.9	16.7	0.0		105.2%
	急性期	23.8	26.7	18.4	30.5	34.2	23.7	144.8%	112.2%
	回復期	16.4	18.4	14.6	18.2	20.5	16.2	126.1%	112.5%
	慢性期								
	在宅医療等	0.0	0.0	0.0					
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分								
	小計	52.1	57.7	33.1	64.6	71.5	39.9	174.5%	110.7%
両毛	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	14.5	16.7	14.4	18.6	21.4	18.4	116.3%	115.1%
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期								
	在宅医療等	0.0	0.0	0.0					
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分								
	小計	14.5	16.7	14.4	18.6	21.4	18.4	116.3%	115.1%

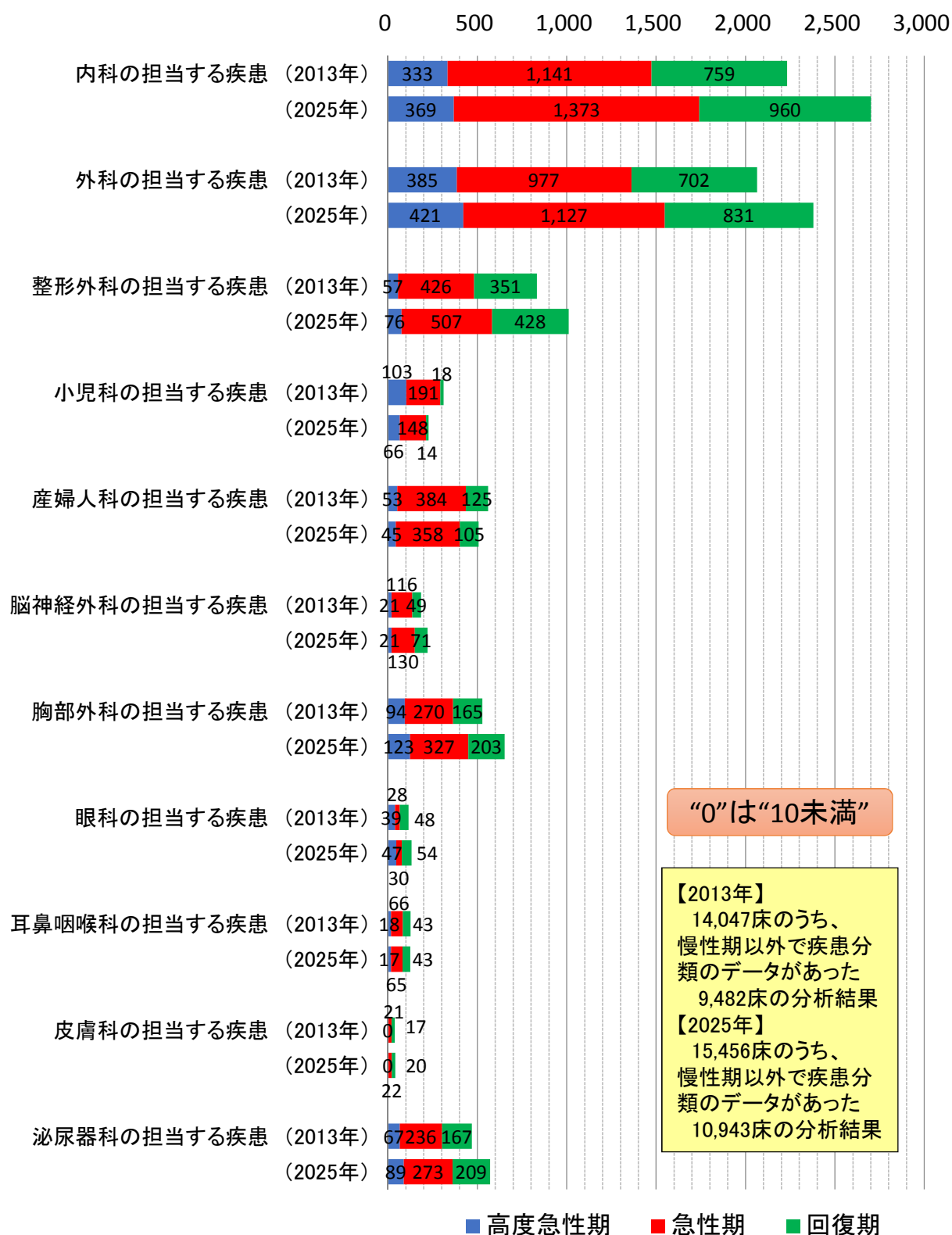
(注) 高度急性期、急性期、回復期までの数値は全体のうち約8割のデータについて分析、在宅医療等の数値は全体のうち約1割のデータの分析である。
慢性期及び在宅医療等のうち訪問診療分については、データに病名がないため疾病分類別の値はなし
全圏域の計、及び各圏域の小計欄の数値は、10以上の数値の合計値であり、10未満の数値を含まない

【19その他分類できない疾患】

	医療機能	医療需要(人/日)			必要病床数(床)			充足率 B/C (%)	伸び率 B/A (%)
		A 2013年度	B 2025年度 (医療機関所在地)	C 2025年度 (患者住所地)	D 2013年度	E 2025年度 (医療機関所在地)	F 2025年度 (患者住所地)		
全圏域	高度急性期								
	急性期	36.4	46.5	53.5	46.7	59.6	68.6	86.8%	127.5%
	回復期	79.2	99.8	97.0	88.0	110.9	107.8	102.9%	126.1%
	慢性期								
	在宅医療等	12.6	38.8	38.1				101.9%	309.1%
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分								
	小計	128.2	185.1	188.6	134.7	170.4	176.4	98.1%	144.4%
県北	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	12.1	0.0	0.0	15.5		
	回復期	15.7	18.8	20.8	17.5	20.9	23.1	90.6%	119.5%
	慢性期								
	在宅医療等	0.0	10.7	11.2				96.0%	
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分								
	小計	15.7	29.5	44.0	17.5	20.9	38.6	67.1%	187.6%
県西	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期								
	在宅医療等	0.0	0.0	0.0					
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分								
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
宇都宮	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	23.0	29.8	24.7	29.5	38.2	31.6	120.8%	129.6%
	回復期	28.0	37.5	30.8	31.1	41.6	34.3	121.5%	133.8%
	慢性期								
	在宅医療等	0.0	12.3	11.0				112.0%	
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分								
	小計	51.0	79.5	66.5	60.6	79.8	65.9	119.7%	156.0%
県東	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期								
	在宅医療等	0.0	0.0	0.0					
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分								
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
県南	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	13.4	16.7	16.8	17.2	21.3	21.5	99.2%	124.0%
	回復期	23.2	29.3	30.0	25.7	32.5	33.3	97.6%	126.5%
	慢性期								
	在宅医療等	12.6	15.8	15.9				99.2%	126.0%
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分								
	小計	49.1	61.7	62.7	42.9	53.9	54.9	98.4%	125.7%
両毛	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	12.3	14.2	15.4	13.7	15.8	17.1		
	慢性期								
	在宅医療等	0.0	0.0	0.0					
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分								
	小計	12.3	14.2	15.4	13.7	15.8	17.1	92.5%	116.0%

(注) 高度急性期、急性期、回復期までの数値は全体のうち約8割のデータについて分析、在宅医療等の数値は全体のうち約1割のデータの分析である。
慢性期及び在宅医療等のうち訪問診療分については、データに病名がないため疾病分類別の値はなし
10未満の数については、特定の個人が第三者に識別されることを防ぐため「0.0(セルに網掛けあり)」で表記
全圏域の計、及び各圏域の小計欄の数値は、10以上の数値の合計値であり、10未満の数値を含まない

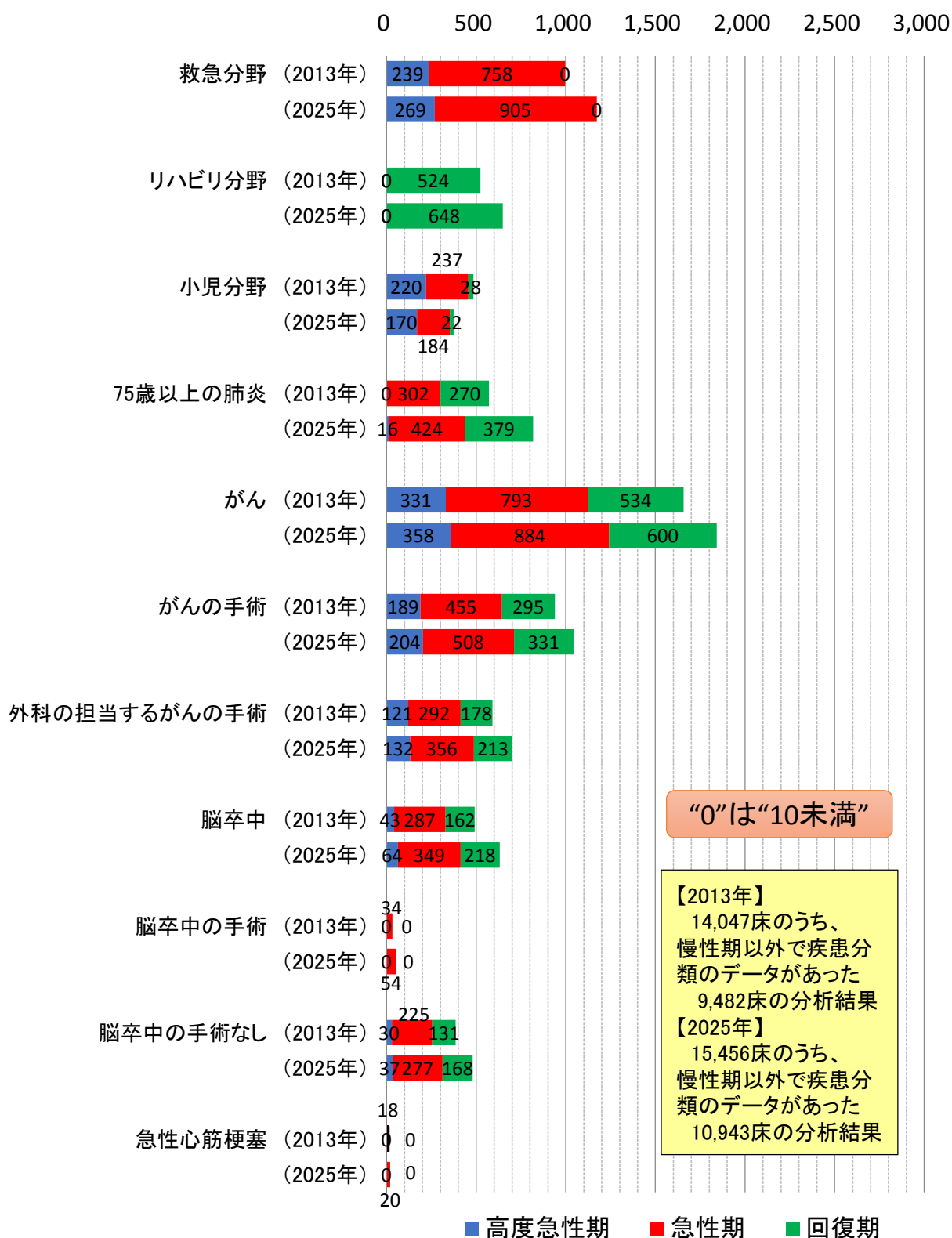
グラフ01 疾病区分グループ別の必要病床数の推移(栃木県)(1)



【必要病床数等推計ツール(平成27年6月版,厚生労働省)による分析】

- ・ NDB,DPCLレセプトデータのうちMDC疾患分類で分類でき、疾病区分ごとにまとめられたデータを、独自にグループに再編し、医療機関所在地での必要病床数を集計
- ・ 慢性期の入院は疾患データが入っていないため分類不能、ほかMDC疾患分類不能のデータあり
- ・ 個人情報保護のシステム上、疾病区分ごとで“10未満”となるデータは“0”で集計される

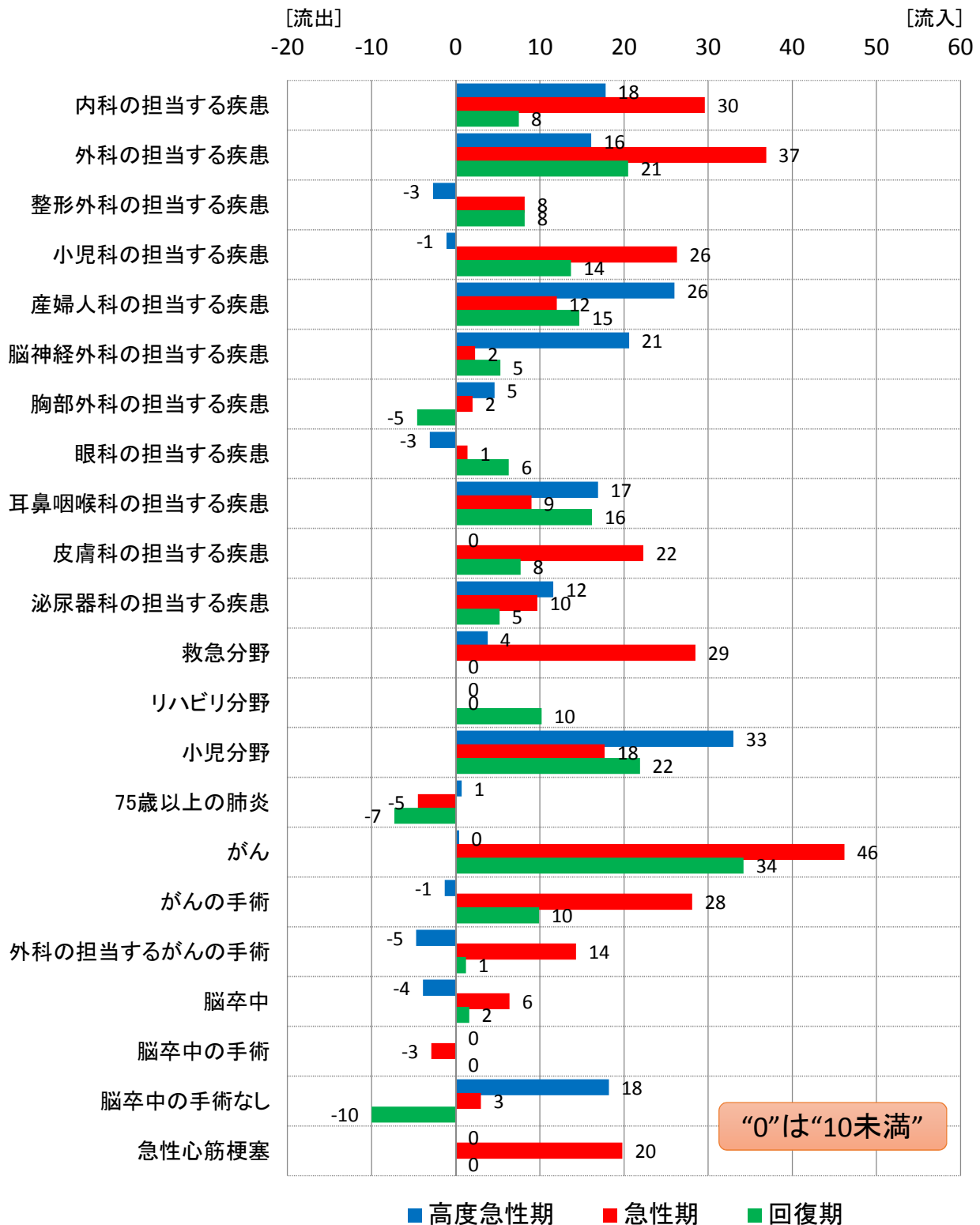
疾病区分グループ別の必要病床数の推移(栃木県)(2)



【必要病床数等推計ツール(平成27年6月版,厚生労働省)による分析】

- ・ NDB, DPCLレセプトデータのうちMDC疾患分類で分類でき、疾病区分ごとにまとめられたデータを、独自にグループに再編し、医療機関所在地での必要病床数を集計
- ・ 慢性期の入院は疾患データが入っていないため分類不能、ほかMDC疾患分類不能のデータあり
- ・ 個人情報保護のシステム上、疾病区分ごとで“10未満”となるデータは“0”で集計される

グラフ02 2025年の必要病床数での患者流出入状況(栃木県)



患者住所地の必要病床数(医療需要)が的中し、医療機関所在地の必要病床数(今の流出入状況)が続いた仮定での状況

【必要病床数等推計ツール(平成27年6月版,厚生労働省)による分析】

- ・ 流出入状況 = 医療機関所在地での必要病床数 - 患者住所地での必要病床数 として算出
- ・ 個人情報保護のシステム上、疾病区分ごとで"10未満"となるデータは"0"で集計される

〈参考〉 MDC疾患区分と分析に用いた疾病区分グループの対応表(1)

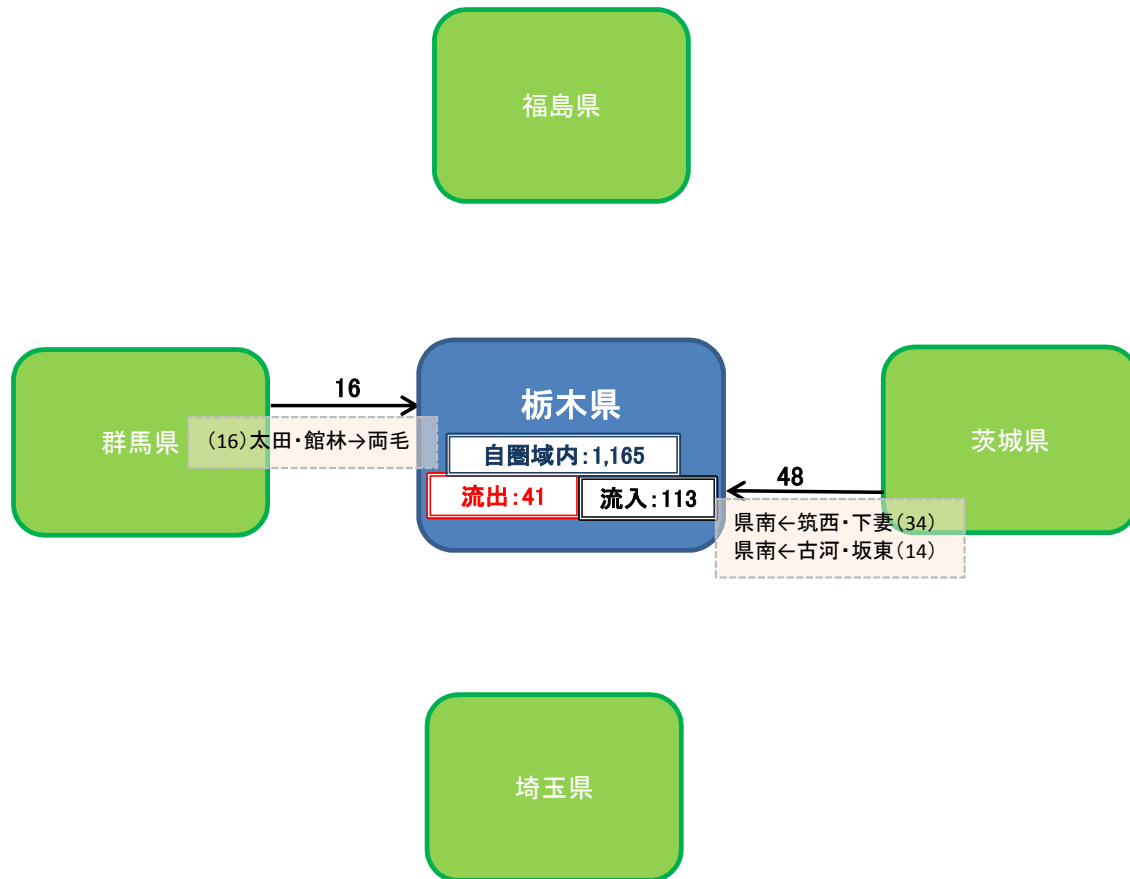
疾病区分グループ	内科の担当する疾患	外科の担当する疾患	整形外科の担当する疾患	小児科の担当する疾患	産婦人科の担当する疾患	脳神経外科の担当する疾患	胸部外科の担当する疾患	眼科の担当する疾患	耳鼻咽喉科の担当する疾患	皮膚科の担当する疾患	泌尿器科の担当する疾患
抽出条件				15歳未満							
がん MDC01神経系疾患(手術あり)						●					
がん MDC01神経系疾患(手術なし)				●		●					
がん MDC02眼科系疾患(手術あり)								●			
がん MDC02眼科系疾患(手術なし)				●				●			
がん MDC03耳鼻咽喉科系疾患(手術あり)									●		
がん MDC03耳鼻咽喉科系疾患(手術なし)				●					●		
がん MDC04呼吸器系疾患(手術あり)							●				
がん MDC04呼吸器系疾患(手術なし)				●							
がん MDC05循環器系疾患(手術なし)				●							
がん MDC06のうち、上部消化管疾患(手術あり)		●									
がん MDC06のうち、上部消化管疾患(手術なし)		●		●							
がん MDC06のうち、下部消化管疾患(手術あり)		●									
がん MDC06のうち、下部消化管疾患(手術なし)		●		●							
がん MDC06のうち、肝臓・胆道・膵臓疾患(手術あり)		●									
がん MDC06のうち、肝臓・胆道・膵臓疾患(手術なし)		●		●							
がん MDC07筋骨格系疾患(手術あり)			●								
がん MDC07筋骨格系疾患(手術なし)			●	●							
がん MDC08皮膚・皮下組織の疾患(手術あり)										●	
がん MDC08皮膚・皮下組織の疾患(手術なし)				●						●	
がん MDC09乳房の疾患(手術あり)		●									
がん MDC09乳房の疾患(手術なし)		●		●							
がん MDC10内分泌・栄養・代謝に関する疾患(手術あり)		●									
がん MDC10内分泌・栄養・代謝に関する疾患(手術なし)		●		●							
がん MDC11腎・尿路系疾患及び男性生殖系疾患(手術あり)				●							●
がん MDC11腎・尿路系疾患及び男性生殖系疾患(手術なし)				●							●
がん MDC12女性生殖系疾患及び産褥期疾患・異常妊娠分娩(手術あり)					●						
がん MDC12女性生殖系疾患及び産褥期疾患・異常妊娠分娩(手術なし)				●	●						
がん MDC13血液・造血器・免疫臓器の疾患(手術あり)		●									
がん MDC13血液・造血器・免疫臓器の疾患(手術なし)	●			●							
がん MDC18その他(手術あり)		●									
がん MDC18その他(手術なし)	●			●							
MDC05急性心筋梗塞(手術あり)							●				
MDC05急性心筋梗塞(手術なし)	●			●							
MDC01くも膜下出血(手術あり)											
MDC01くも膜下出血(手術なし)	●			●							
MDC01脳梗塞(手術あり)						●					
MDC01脳梗塞(手術なし)	●			●							
MDC01脳出血(手術あり)						●					
MDC01脳出血(手術なし)	●			●							
MDC04成人肺炎(手術あり)							●				
MDC04成人肺炎(手術なし)	●			●							
MDC16大腿骨頸部骨折(手術あり)			●								
MDC16大腿骨頸部骨折(手術なし)			●								
その他のMDC01神経系疾患(手術あり)						●					
その他のMDC01神経系疾患(手術なし)	●			●							
その他のMDC02眼科系疾患(手術あり)								●			
その他のMDC02眼科系疾患(手術なし)								●			
その他のMDC03耳鼻咽喉科系疾患(手術あり)									●		
その他のMDC03耳鼻咽喉科系疾患(手術なし)									●		
その他のMDC04呼吸器系疾患(手術あり)							●				
その他のMDC04呼吸器系疾患(手術なし)	●			●							
その他のMDC05循環器系疾患(手術あり)							●				
その他のMDC05循環器系疾患(手術なし)	●			●							
その他のMDC06消化器系疾患、肝臓・胆道・膵臓疾患(手術あり)		●									
その他のMDC06消化器系疾患、肝臓・胆道・膵臓疾患(手術なし)	●			●							
その他のMDC07筋骨格系疾患(手術あり)			●								
その他のMDC07筋骨格系疾患(手術なし)			●								
その他のMDC08皮膚・皮下組織の疾患(手術あり)										●	
その他のMDC08皮膚・皮下組織の疾患(手術なし)				●						●	
その他のMDC09乳房の疾患(手術あり)		●									
その他のMDC09乳房の疾患(手術なし)		●		●							
その他のMDC10内分泌・栄養・代謝に関する疾患(手術あり)		●									
その他のMDC10内分泌・栄養・代謝に関する疾患(手術なし)	●			●							
その他のMDC11腎・尿路系疾患及び男性生殖系疾患(手術あり)											●
その他のMDC11腎・尿路系疾患及び男性生殖系疾患(手術なし)				●							●
その他のMDC12女性生殖系疾患及び産褥期疾患・異常妊娠分娩(手術あり)					●						
その他のMDC12女性生殖系疾患及び産褥期疾患・異常妊娠分娩(手術なし)				●	●						
その他のMDC13血液・造血器・免疫臓器の疾患(手術あり)		●									
その他のMDC13血液・造血器・免疫臓器の疾患(手術なし)	●			●							
その他のMDC14新生児疾患、先天性奇形(手術あり)				●							
その他のMDC14新生児疾患、先天性奇形(手術なし)				●							
その他のMDC15小児疾患(手術なし)				●							
その他のMDC16外傷・熱傷・中毒(手術あり)		●									
その他のMDC16外傷・熱傷・中毒(手術なし)		●		●							
その他のMDC17精神疾患(手術なし)				●							
その他のMDC18その他の疾患(手術なし)				●							
その他のMDC18その他の疾患(手術なし)				●							
その他のMDC18に分類できない疾患				●							
疾患分類不能				●							

MDC疾患区分と分析に用いた疾病区分グループの対応表(2)

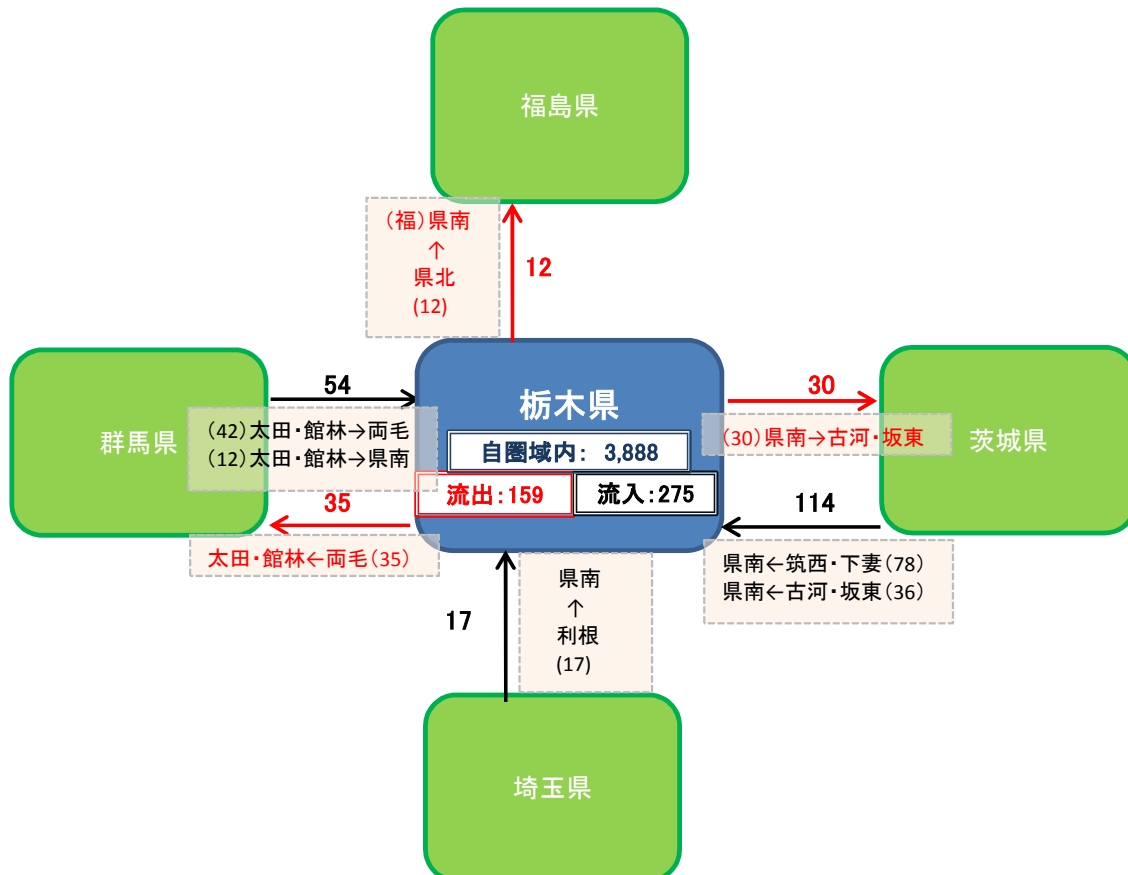
疾病区分グループ	救急分野	リハビリ分野	小児分野	75歳以上の肺炎	がん	がんの手術	外科の担当するがんの手術	脳卒中	脳卒中の手術	脳卒中の手術なし	急性心筋梗塞
抽出条件	高度急性期・急性期	回復期	15歳未満	75歳以上							
がん MDC01神経系疾患(手術あり)			●		●	●					
がん MDC01神経系疾患(手術なし)			●		●						
がん MDC02眼科系疾患(手術あり)			●		●	●					
がん MDC02眼科系疾患(手術なし)			●		●						
がん MDC03耳鼻咽喉科系疾患(手術あり)			●		●	●					
がん MDC03耳鼻咽喉科系疾患(手術なし)			●		●						
がん MDC04呼吸器系疾患(手術あり)			●		●	●					
がん MDC04呼吸器系疾患(手術なし)			●		●						
がん MDC05循環器系疾患(手術なし)			●		●						
がん MDC06のうち、上部消化管疾患(手術あり)			●		●	●	●				
がん MDC06のうち、上部消化管疾患(手術なし)			●		●						
がん MDC06のうち、下部消化管疾患(手術あり)			●		●	●	●				
がん MDC06のうち、下部消化管疾患(手術なし)			●		●						
がん MDC06のうち、肝臓・胆道・膵臓疾患(手術あり)			●		●	●	●				
がん MDC06のうち、肝臓・胆道・膵臓疾患(手術なし)			●		●						
がん MDC07筋骨格系疾患(手術あり)			●		●	●					
がん MDC07筋骨格系疾患(手術なし)			●		●						
がん MDC08皮膚・皮下組織の疾患(手術あり)			●		●	●					
がん MDC08皮膚・皮下組織の疾患(手術なし)			●		●						
がん MDC09乳房の疾患(手術あり)			●		●	●	●				
がん MDC09乳房の疾患(手術なし)			●		●						
がん MDC10内分泌・栄養・代謝に関する疾患(手術あり)			●		●	●	●				
がん MDC10内分泌・栄養・代謝に関する疾患(手術なし)			●		●						
がん MDC11腎・尿路系疾患及び男性生殖系疾患(手術あり)			●		●	●					
がん MDC11腎・尿路系疾患及び男性生殖系疾患(手術なし)			●		●						
がん MDC12女性生殖系疾患及び産褥期疾患・異常妊娠分娩(手術あり)			●		●	●					
がん MDC12女性生殖系疾患及び産褥期疾患・異常妊娠分娩(手術なし)			●		●						
がん MDC13血液・造血器・免疫臓器の疾患(手術あり)			●		●	●	●				
がん MDC13血液・造血器・免疫臓器の疾患(手術なし)			●		●						
がん MDC18その他(手術あり)			●		●	●	●				
がん MDC18その他(手術なし)			●		●						
MDC05急性心筋梗塞(手術あり)	●	●	●								●
MDC05急性心筋梗塞(手術なし)	●	●	●								●
MDC01くも膜下出血(手術あり)	●	●	●				●	●			
MDC01くも膜下出血(手術なし)	●	●	●				●	●		●	
MDC01脳梗塞(手術あり)	●	●	●				●	●			
MDC01脳梗塞(手術なし)	●	●	●				●	●		●	
MDC01脳出血(手術あり)	●	●	●				●	●			
MDC01脳出血(手術なし)	●	●	●				●	●		●	
MDC04成人肺炎(手術あり)			●	●							
MDC04成人肺炎(手術なし)			●	●							
MDC16大腿骨頸部骨折(手術あり)		●	●								
MDC16大腿骨頸部骨折(手術なし)		●	●								
その他のMDC01神経系疾患(手術あり)			●								
その他のMDC01神経系疾患(手術なし)			●								
その他のMDC02眼科系疾患(手術あり)			●								
その他のMDC02眼科系疾患(手術なし)			●								
その他のMDC03耳鼻咽喉科系疾患(手術あり)			●								
その他のMDC03耳鼻咽喉科系疾患(手術なし)			●								
その他のMDC04呼吸器系疾患(手術あり)	●		●								
その他のMDC04呼吸器系疾患(手術なし)			●								
その他のMDC05循環器系疾患(手術あり)	●		●								
その他のMDC05循環器系疾患(手術なし)			●								
その他のMDC06消化器系疾患、肝臓・胆道・膵臓疾患(手術あり)			●								
その他のMDC06消化器系疾患、肝臓・胆道・膵臓疾患(手術なし)			●								
その他のMDC07筋骨格系疾患(手術あり)		●	●								
その他のMDC07筋骨格系疾患(手術なし)		●	●								
その他のMDC08皮膚・皮下組織の疾患(手術あり)			●								
その他のMDC08皮膚・皮下組織の疾患(手術なし)			●								
その他のMDC09乳房の疾患(手術あり)			●								
その他のMDC09乳房の疾患(手術なし)			●								
その他のMDC10内分泌・栄養・代謝に関する疾患(手術あり)			●								
その他のMDC10内分泌・栄養・代謝に関する疾患(手術なし)			●								
その他のMDC11腎・尿路系疾患及び男性生殖系疾患(手術あり)			●								
その他のMDC11腎・尿路系疾患及び男性生殖系疾患(手術なし)			●								
その他のMDC12女性生殖系疾患及び産褥期疾患・異常妊娠分娩(手術あり)			●								
その他のMDC12女性生殖系疾患及び産褥期疾患・異常妊娠分娩(手術なし)			●								
その他のMDC13血液・造血器・免疫臓器の疾患(手術あり)			●								
その他のMDC13血液・造血器・免疫臓器の疾患(手術なし)			●								
その他のMDC14新生児疾患、先天性奇形(手術あり)			●								
その他のMDC14新生児疾患、先天性奇形(手術なし)			●								
その他のMDC15小児疾患(手術なし)			●								
その他のMDC16外傷・熱傷・中毒(手術あり)	●		●								
その他のMDC16外傷・熱傷・中毒(手術なし)	●		●								
その他のMDC17精神疾患(手術なし)			●								
その他のMDC18その他の疾患(手術なし)			●								
その他のMDC18に分類できない疾患			●								
疾患分類不能			●								

図01 2025年における患者流出入の都道府県調整の対象数

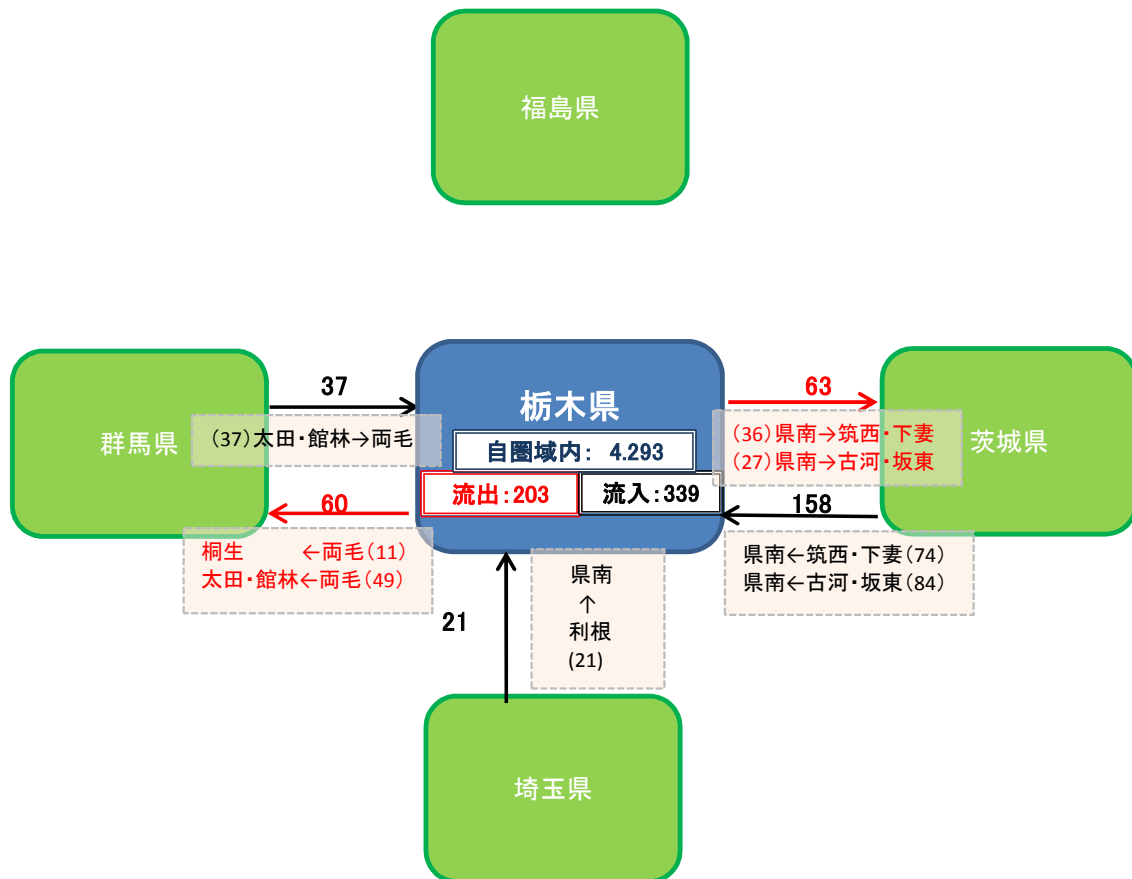
【高度急性期の流出入】 単位:人/日



【急性期の流出入】 単位:人/日



【回復期の流出入】 単位:人/日



【慢性期の流出入】 単位:人/日

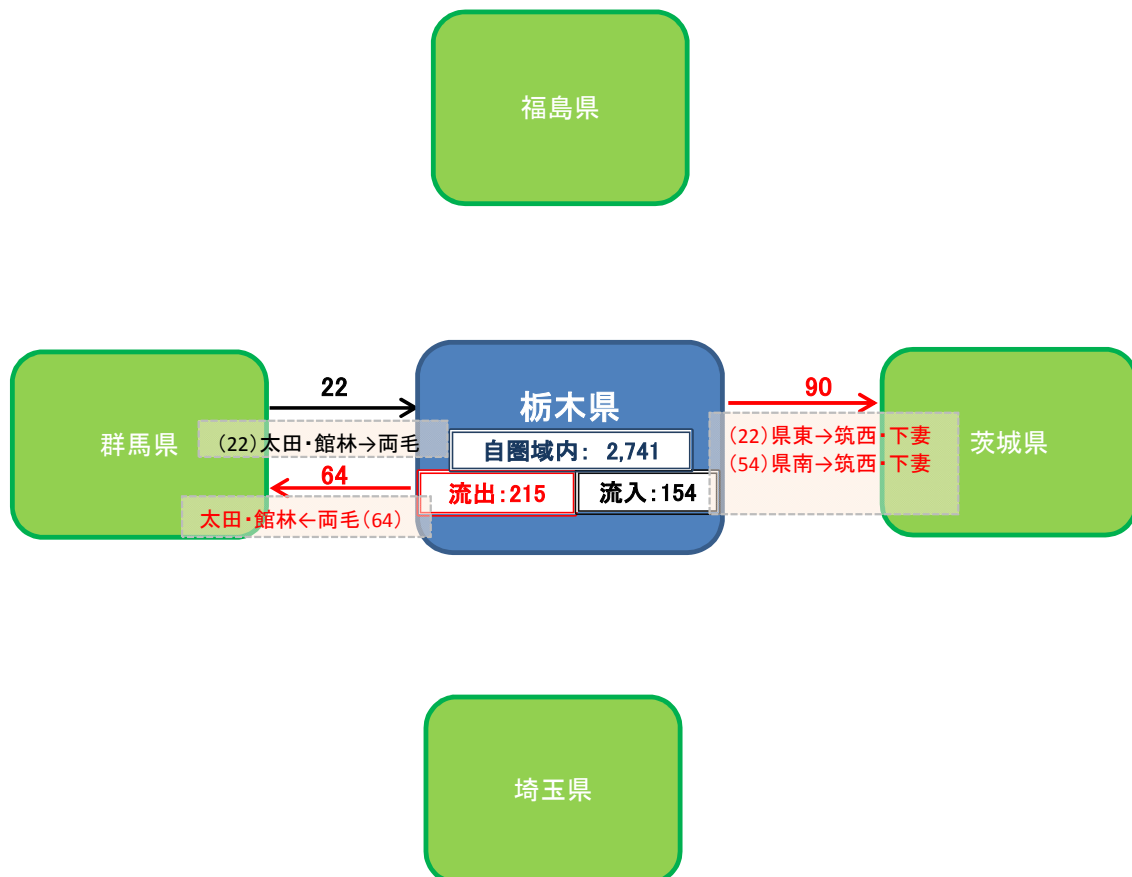


図02
 がんの専門診療を担う医療機関の時間距離に応じた人口カバー圏

平成27年4月1日現在

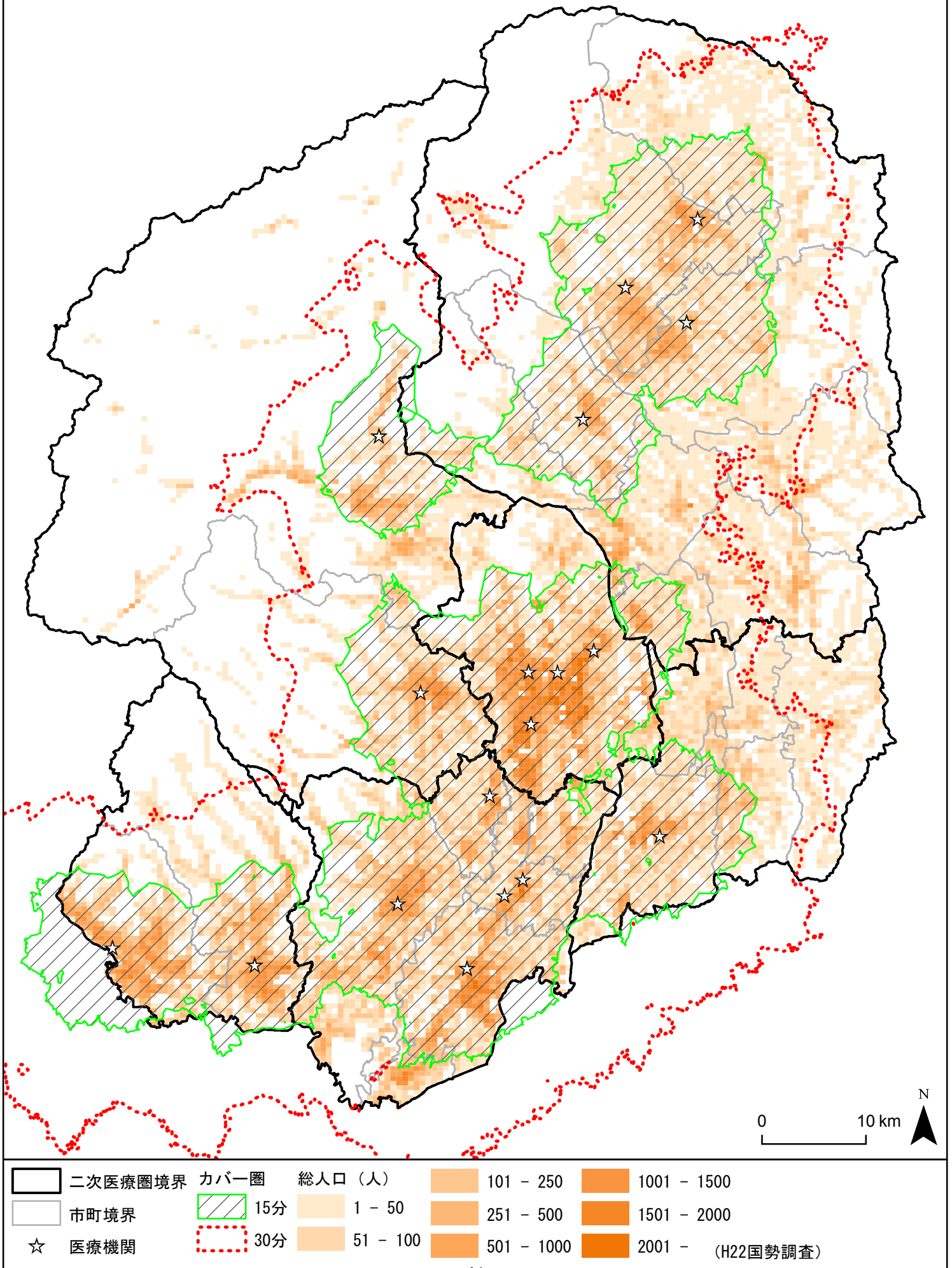


図03
脳卒中専門医療機関の時間距離に応じた人口カバー圏

平成27年4月1日現在

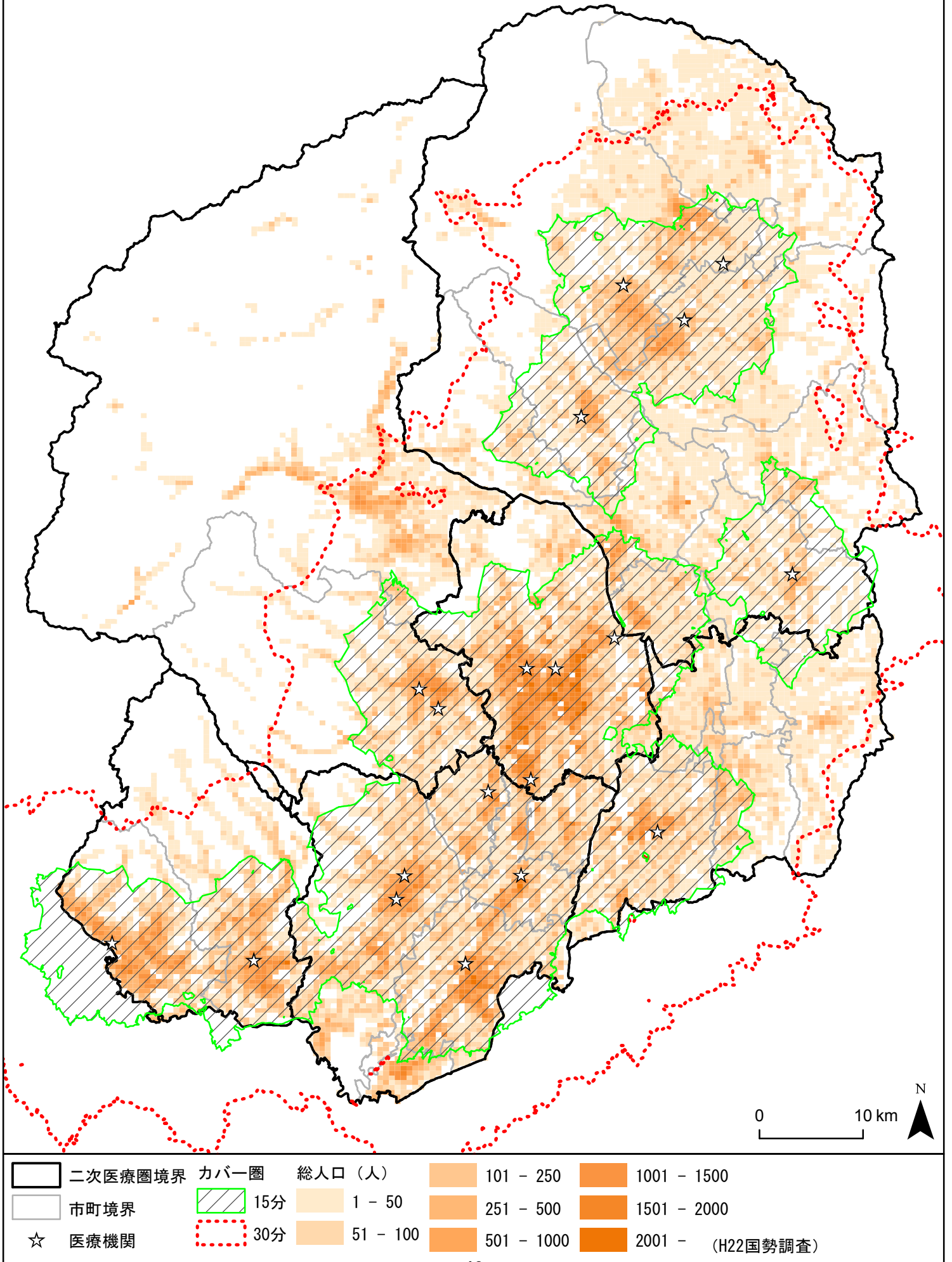


図04 急性心筋梗塞の急性期医療を担う医療機関の時間距離に応じた人口カバー圏

平成27年4月1日現在

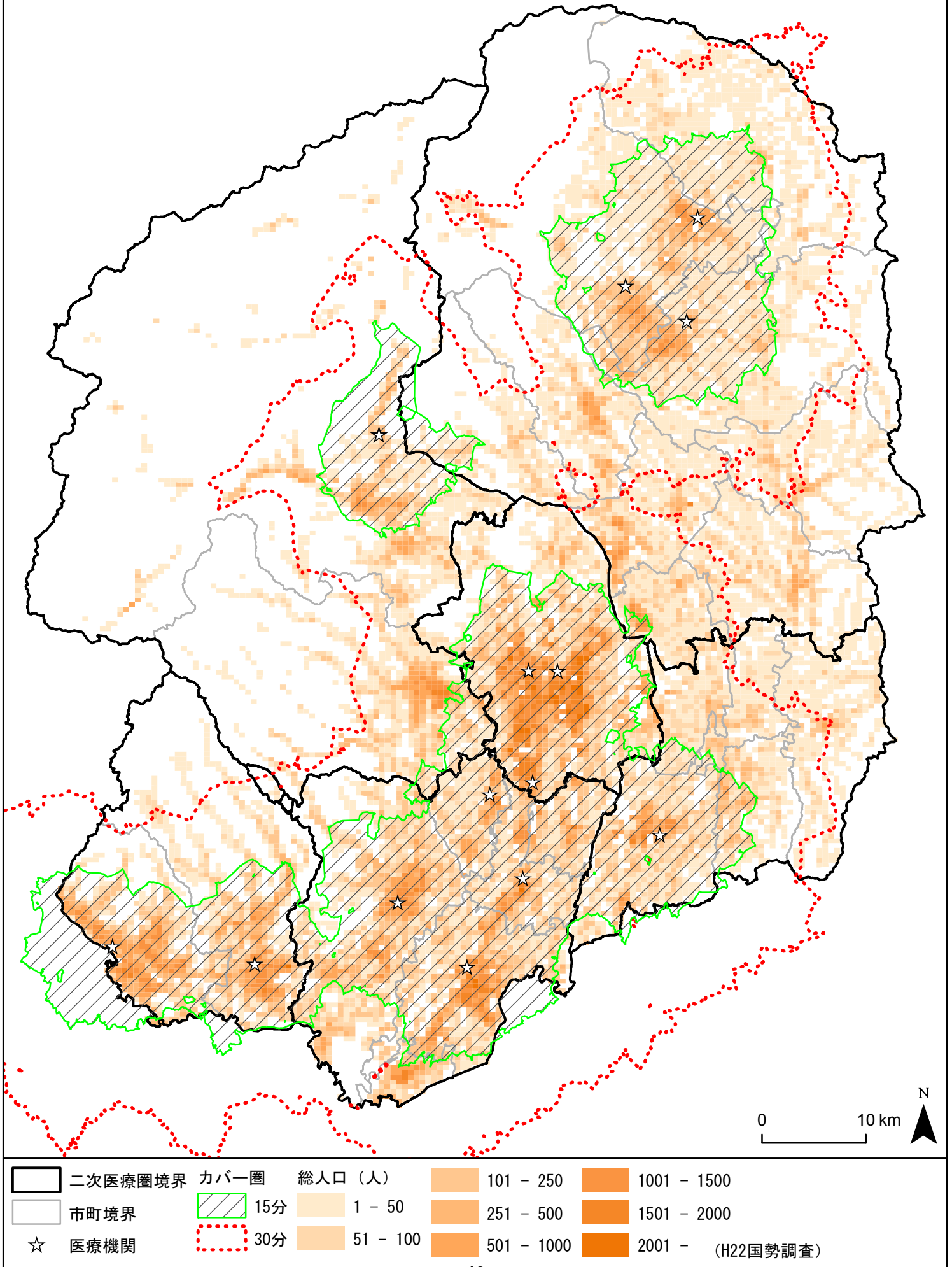


図05
 病院群輪番制病院（二次救急医療）の時間距離に応じた人口カバー圏

平成27年4月1日現在

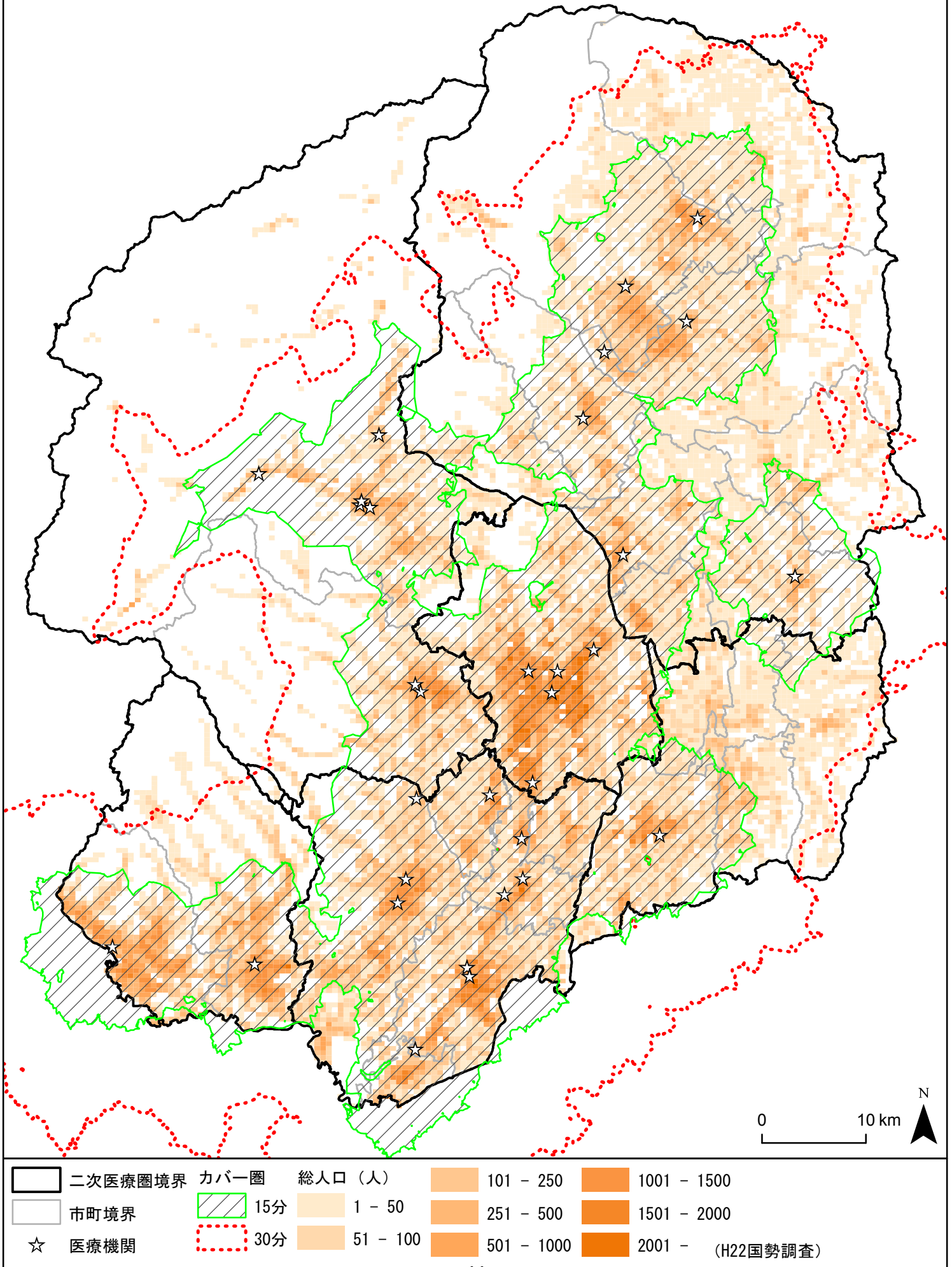


図06 回復期リハビリテーション病棟を有する病院の時間距離に応じた人口カバー圏

平成27年4月1日現在

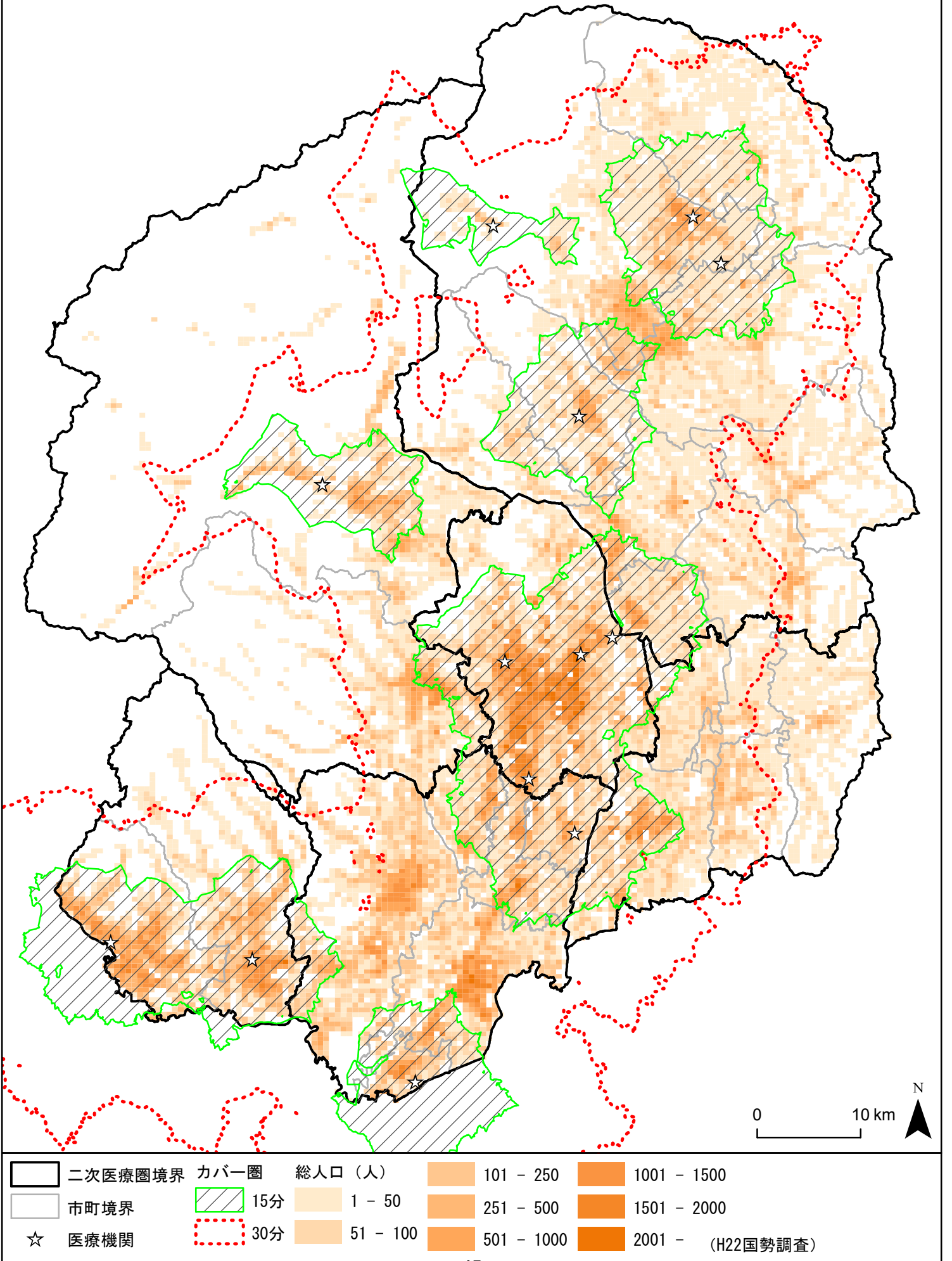


図07
在宅療養支援診療所・病院の時間距離に応じたカバー圏

平成27年6月1日現在

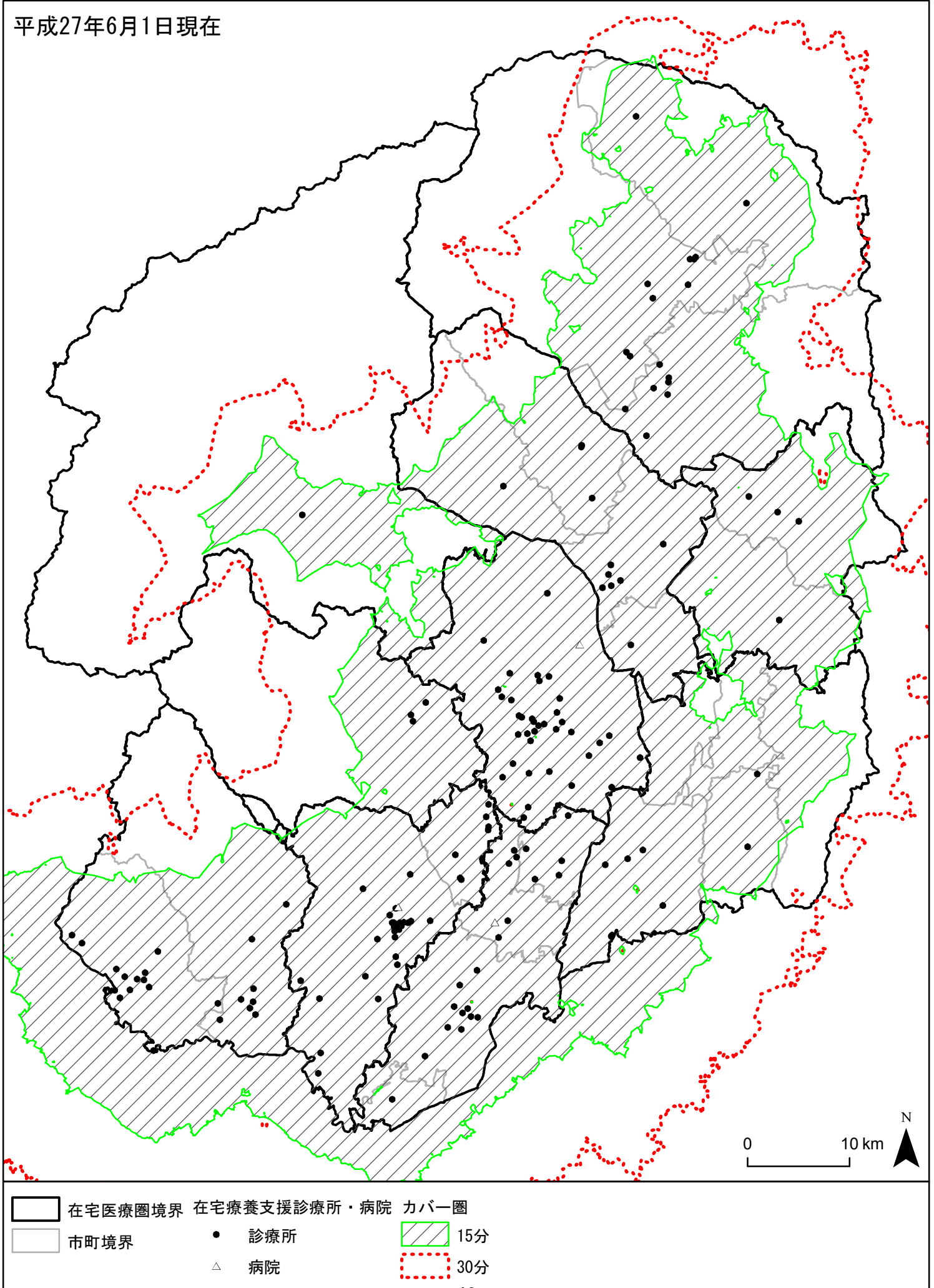


図08
訪問看護ステーションの時間距離に応じたカバー圏

平成27年4月1日現在

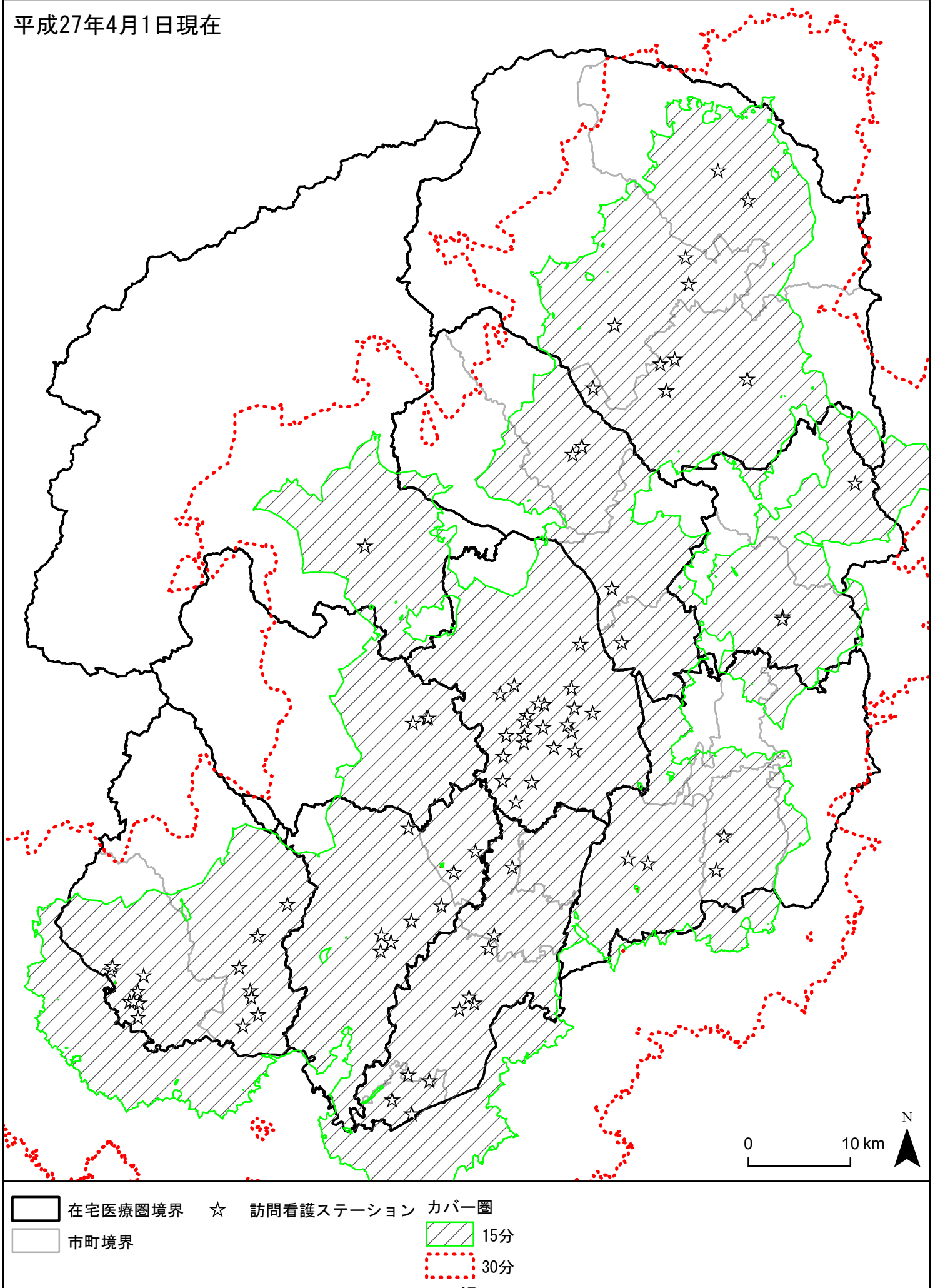


表06 平成26年度病床機能報告結果
 ○2014年及び2020年の医療機能

【表】

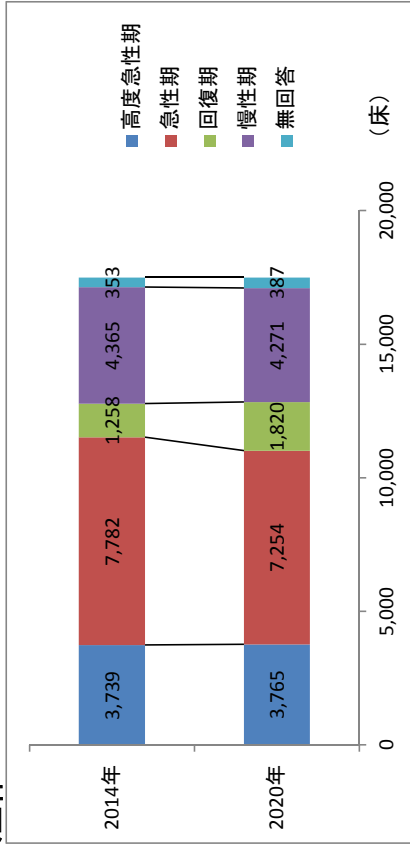
1 県全体

	2014年					2020年(6年後)					2020年-2014年						
	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	無回答	計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	無回答	計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	無回答
全体	3,739	7,782	1,258	4,365	353	17,497	3,765	7,254	1,820	4,271	387	17,497	26	▲ 528	562	▲ 94	34
	21.3%	44.5%	7.2%	25.0%	2.0%	-	21.5%	41.5%	10.4%	24.4%	2.2%	-	0.1%	-3.0%	3.2%	-0.5%	0.2%
うち 病院	3,720	6,680	1,062	4,199	257	15,918	3,728	6,218	1,614	4,067	291	15,918	8	▲ 462	552	▲ 132	34
	23.4%	41.9%	6.7%	26.4%	1.6%	-	23.4%	39.1%	10.1%	25.6%	1.8%	-	0.0%	-2.9%	3.5%	-0.8%	0.2%
うち 診療所	19	1,102	196	166	96	1,579	37	1,036	206	204	96	1,579	18	▲ 66	10	38	0
	1.2%	69.8%	12.4%	10.5%	6.1%	-	2.3%	65.6%	13.0%	13.0%	6.1%	-	1.1%	-4.2%	0.6%	2.5%	0.0%

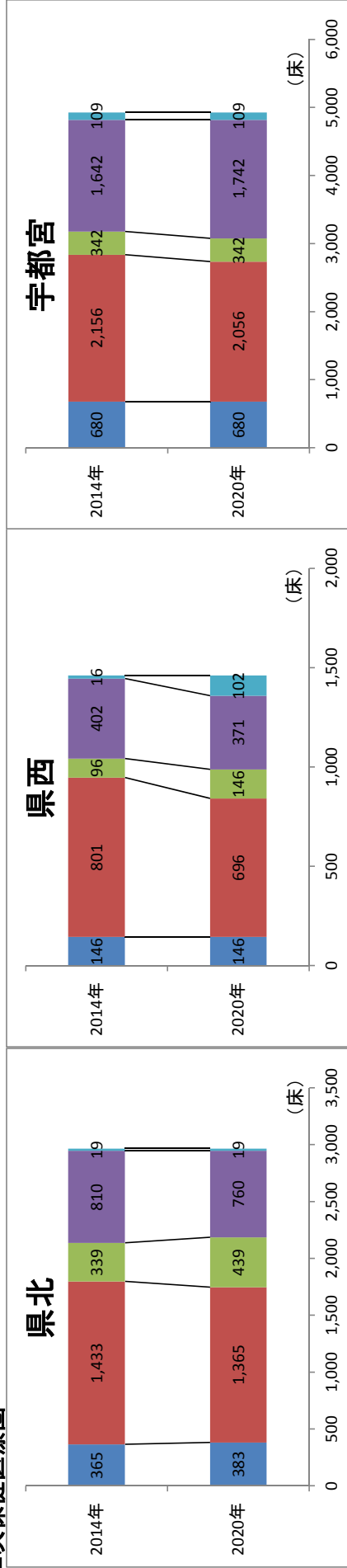
2 二次保健医療圏

	2014年					2020年(6年後)					2020年-2014年						
	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	無回答	計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	無回答	計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	無回答
県北	365	1,433	339	810	19	2,966	383	1,365	439	760	19	2,966	18	▲ 68	100	▲ 50	0
	12.3%	48.3%	11.4%	27.3%	0.7%	-	12.9%	46.0%	14.8%	25.6%	0.7%	-	0.6%	-2.3%	3.4%	-1.7%	0.0%
県西	146	801	96	402	16	1,461	146	696	146	371	102	1,461	0	▲ 105	50	▲ 31	86
	10.0%	54.8%	6.6%	27.5%	1.1%	-	10.0%	47.6%	10.0%	25.4%	7.0%	-	0.0%	-7.2%	3.4%	-2.1%	5.9%
宇都宮	680	2,156	342	1,642	109	4,929	680	2,056	342	1,742	109	4,929	0	▲ 100	0	100	0
	13.8%	43.8%	6.9%	33.3%	2.2%	-	13.8%	41.7%	6.9%	35.4%	2.2%	-	0.0%	-2.1%	0.0%	2.1%	0.0%
県東	172	490	19	141	70	892	136	455	133	141	27	892	▲ 36	▲ 35	114	0	▲ 43
	19.3%	54.9%	2.1%	15.8%	7.9%	-	15.3%	51.0%	14.9%	15.8%	3.0%	-	-4.0%	-3.9%	12.8%	0.0%	-4.9%
県南	2,269	1,520	335	575	19	4,718	2,269	1,300	576	534	39	4,718	0	▲ 220	241	▲ 41	20
	48.1%	32.2%	7.1%	12.2%	0.4%	-	48.1%	27.6%	12.2%	11.3%	0.8%	-	0.0%	-4.6%	5.1%	-0.9%	0.4%
両毛	107	1,382	127	795	120	2,531	151	1,382	184	723	91	2,531	44	0	57	▲ 72	▲ 29
	4.2%	54.6%	5.0%	31.4%	4.8%	-	6.0%	54.6%	7.3%	28.5%	3.6%	-	1.8%	0.0%	2.3%	-2.9%	-1.2%
計	3,739	7,782	1,258	4,365	353	17,497	3,765	7,254	1,820	4,271	387	17,497	26	▲ 528	562	▲ 94	34
	21.3%	44.5%	7.2%	25.0%	2.0%	-	21.5%	41.5%	10.4%	24.4%	2.2%	-	0.2%	-3.0%	3.2%	-0.6%	0.2%

【グラフ】
1 県全体



2 二次保健医療圏



〇一般病床・療養病床で算定する入院基本料・特定入院料および届出病床数【平成26年7月1日時点】

【病院】

※病床単位の算定状況であり、内訳となる病室単位の算定状況は含まれない。

	病床数・病床数														
	県北		県西		宇都宮		県東		県南		両毛		県合計		
	病床数	病床数	病床数	病床数	病床数	病床数	病床数	病床数	病床数	病床数	病床数	病床数	病床数	病床数	
救命救急入院料1	1	22			1	9						1	30	3	61
救命救急入院料2	1	8												1	8
救命救急入院料3									2	50				2	50
特定集中治療室管理料3	1	8			1	16			4	38				6	62
ハイフユニット入院医療管理料1	1	4			1	4								2	8
ハイフユニット入院医療管理料2												1	7	1	7
新生児特定集中治療室管理料2	1	9			1	8		6						3	23
総合周産期特定集中治療室管理料(母体・胎児)									2	22				2	22
総合周産期特定集中治療室管理料(新生児)									2	21				2	21
新生児治療回復室入院医療管理料	1	6			1	10		6	2	54				5	76
小児入院医療管理料1	1	21							3	106				3	106
小児入院医療管理料2															
小児入院医療管理料3	1				1	51		38				1	31	3	120
小児入院医療管理料4	1	34							1	38				2	72
特定機能病院一般病床7対1入院基本料									46	1,869				46	1,869
一般病床7対1入院基本料	18	791	9	413	30	1,333	8	341	14	719	21	797		100	4,394
専門病院7対1入院基本料					8	300								8	300
一般病床10対1入院基本料	11	528	4	180	9	481			8	374	2	115		34	1,678
一般病床13対1入院基本料	2	110	1	60	1	30	2	94	3	155	4	174		13	623
一般病床15対1入院基本料	3	94	3	127	6	266	1	60	1	41	2	70		16	658
一般病床特別入院基本料											2	72		2	72
回復期リハビリテーション病棟入院料1	2	99			3	142			3	171				8	412
回復期リハビリテーション病棟入院料2	2	94			2	97			2	79	2	100		8	370
回復期リハビリテーション病棟入院料3	2	80							1	27				3	107
地域包括ケア病棟入院料1			1	46					1	48	1	50		3	144
療養病棟入院基本料1	8	388	2	100	12	615	1	48	7	345	2	89		32	1,585
療養病棟入院基本料2	3	160	6	312	6	310	2	93	1	50	10	451		28	1,376
障害者施設等10対1入院基本料					6	258			1	40	5	214		12	512
障害者施設等13対1入院基本料	1	55												1	55
特別疾患病棟入院料1					1	58			1	23				2	81
特別疾患病棟入院料2									1	60				1	60
緩和ケア病棟入院料	1	20			2	44			1	18	1	19		5	101
小計	61	2,531	26	1,238	92	4,032	17	686	107	4,348	55	2,219		358	15,054
療養型介護療養施設サービス費(介護療養病床として使用)	2	124	1	50	4	216								7	390
診療報酬上の入院料の届出なし	1	5			2	57	1	44	2	57	4	127		10	290
合計	64	2,660	27	1,288	98	4,305	18	730	109	4,405	59	2,346		375	15,734

【有床診療所】

	施設数・病床数													
	県北		県西		宇都宮		県東		県南		両毛		県合計	
	施設数	病床数	施設数	病床数	施設数	病床数	施設数	病床数	施設数	病床数	施設数	病床数	施設数	病床数
有床診療所入院基本料	12	206	10	166	26	379	9	127	17	249	12	139	86	1,266
有床診療所療養病床入院基本料	2	37	2	17	3	22	1	16	1	8	0	0	9	100
合計	14	243	12	183	29	401	10	143	18	257	12	139	95	1,366

表07 病院の入院患者数(一般病床＋療養病床)、流入・流出割合(地域別)

患者住所地 施設所在地	総数	県北	県西	宇都宮	県東	県南	両毛	県外・外国	流入割合
		総数	13,140	2,554	1,495	3,097	895	2,371	
県北	2,188	1,911	53	72	42	27	3	80	12.7%
県西	1,110	29	974	37	5	28	8	29	12.3%
宇都宮	3,600	371	209	2,479	119	175	14	233	31.1%
県東	582	0	1	18	521	16	0	26	10.5%
県南	3,847	240	246	485	199	2,010	125	542	47.8%
両毛	1,813	3	12	6	9	115	1,449	219	20.1%
流出割合		25.2%	34.8%	20.0%	41.8%	15.2%	9.4%		

※不明(208)を除く。

資料：栃木県「医療実態調査」(平成23年)

栃木県地域医療構想(素案)の概要

第1章 全体構想

1. 策定の趣旨

少子高齢化に伴う医療需要の変化を見据え、将来の医療需要に適切に対応し、効率的で質の高い医療提供体制を構築するため、2025年の医療機能別(*)の医療需要と必要病床数と目指すべき医療提供体制の実現に向けた施策を記載します。

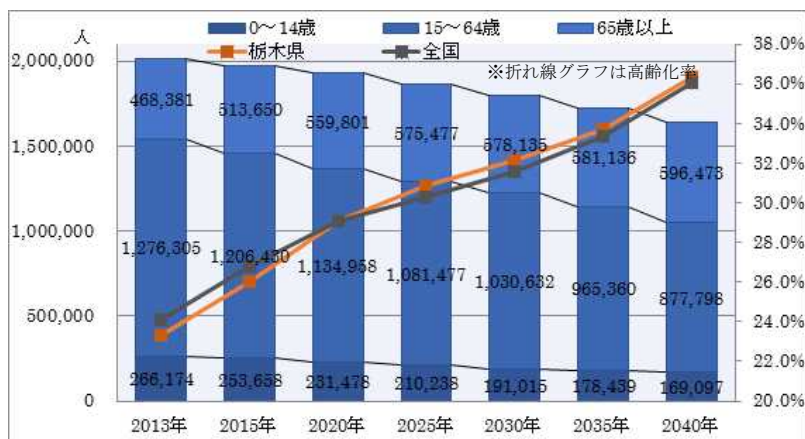
「栃木県保健医療計画(6期計画)」の一部として「栃木県地域医療構想」を策定します。

(*)高度急性期・急性期機能(救命救急や手術等診療密度の高い医療)、回復期機能(急性期を経過した患者に対する在宅復帰に向けた医療やリハビリ)、慢性期機能(長期にわたり療養が必要な患者に対する医療)、在宅医療等(居宅、介護施設等、病院・診療所以外の場所で提供される医療)に区分されます。

2. 本県における少子高齢化の進行と医療需要の変化

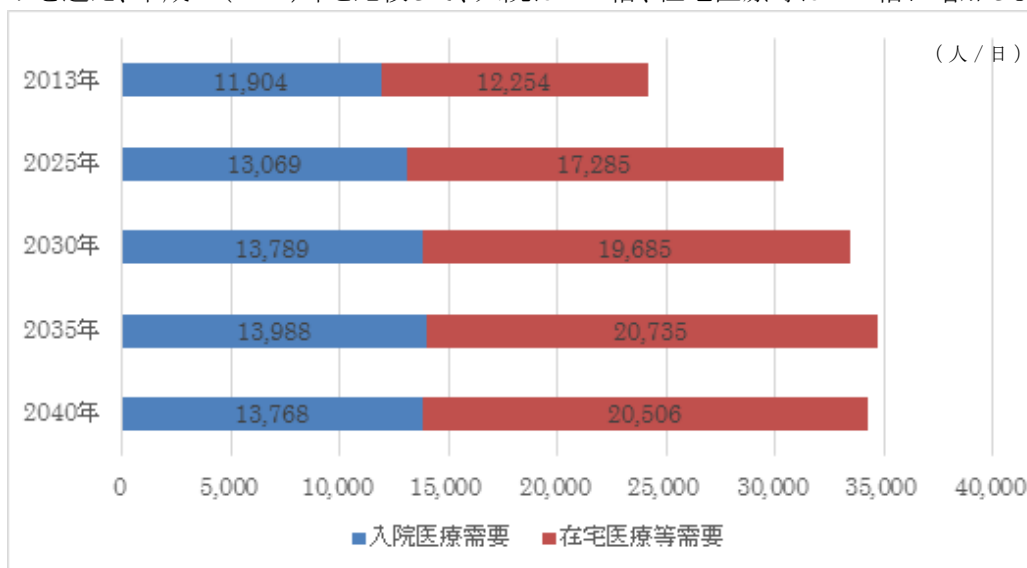
①将来人口推計

国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来人口推計」では、本県の高齢者人口は平成37(2025)年には平成25(2013)年の約1.23倍(高齢化率は約30.8%)、平成52(2040)年には約1.27倍(高齢化率は約36.3%)に達すると予測されます。



②医療需要(入院医療と在宅医療等)の将来推計

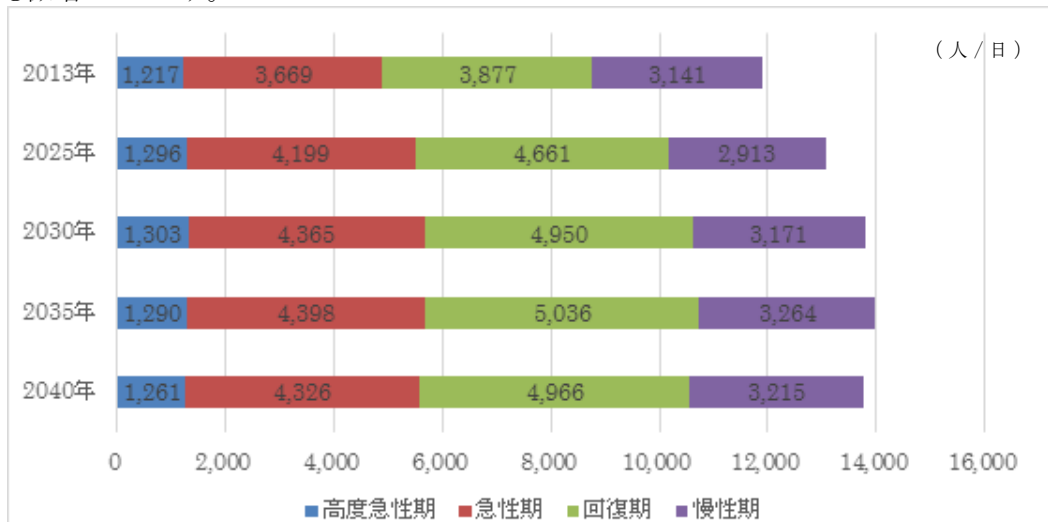
平成25(2013)年の実績を基に本県の将来の医療需要を推計すると、医療需要は平成47(2035)年にピークを迎え、平成25(2013)年と比較して、入院は1.17倍、在宅医療等は1.69倍に増加します。



※必要病床等推計ツールによる分析

③入院医療需要の病床機能別推計

平成25(2013)年の実績を基に将来の入院医療需要を推計すると、2035年にピークを迎え、回復期、急性期、高度急性期の順で医療需要の伸びが大きく、慢性期については、地域差解消分(*)を見込んでも微増しています。

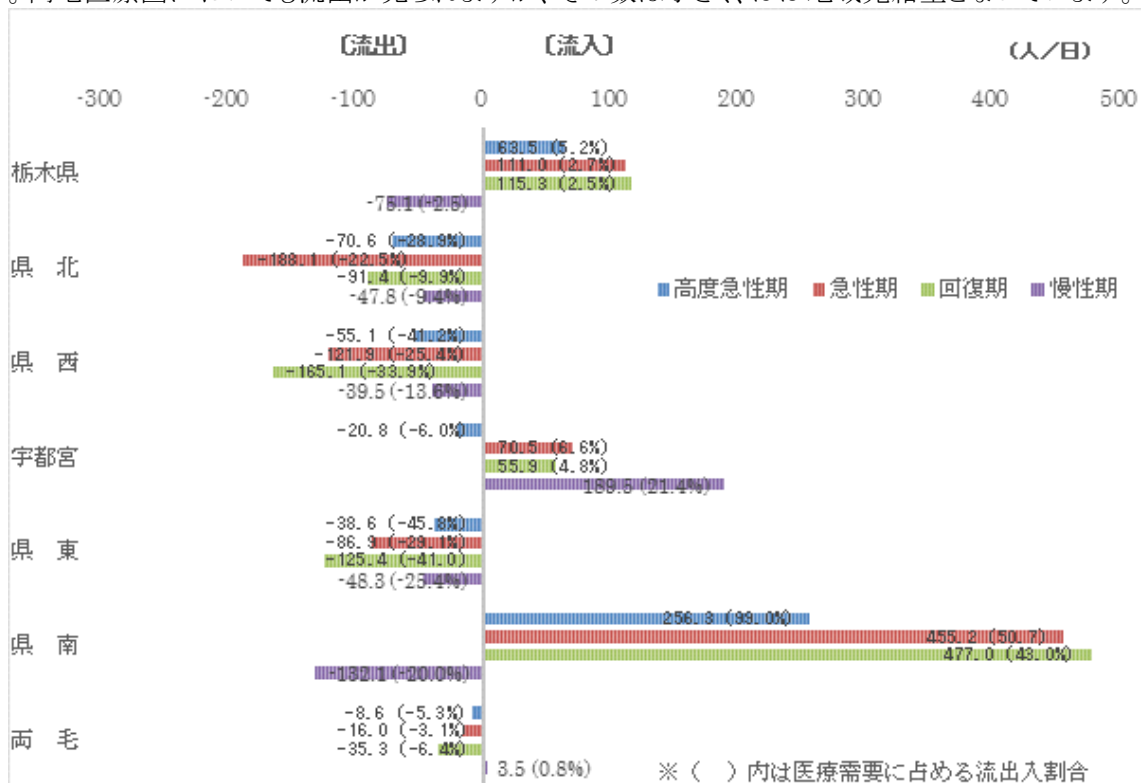


※必要病床等推計ツールによる分析

(*)療養病床の受療率の地域差を解消するための目標値で、平成25(2013)年の療養病床入院受療率の全国最大値(都道府県単位)を全国中央値(都道府県単位)まで低下させる割合(全国定率)を用いて推計しています。

④圏域を越える入院医療需要(流出入)の推計

平成37(2025)年における、各二次保健医療圏の病床機能区分別の患者の流出入の推計では、二つの大学病院のある県南医療圏への大きな流入が見られるほか、宇都宮医療圏への流入が見られます。一方、県北・県西・県東の各二次保健医療圏においては全ての病床機能区分で流出が見られます。両毛医療圏においても流出が見られますが、その数は小さく、ほぼ地域完結型となっています。



※必要病床等推計ツールによる分析

3. 本県における地域医療構想区域と目指すべき将来の医療提供体制

- ・本県における地域医療構想区域は、二次医療圏(保健医療圏)と同じ区域とします。
- ・必要病床数については、医療機関所在地の医療需要による必要病床数で算定します。
- ・本県における2025年の医療需要と必要病床数、在宅医療等の必要量の推計結果は次のとおりです。

◆栃木県における2025年の医療機能別の医療需要と必要病床数(一般病床及び療養病床)

区域名	機能区分	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計	
県全体	医療需要	1,296	4,199	4,661	2,913	13,069	(単位:人/日)
	必要病床数	1,728	5,385	5,179	3,166	15,458	(単位:床)
県北	医療需要	174	647	830	461	2,112	
	必要病床数	232	830	922	501	2,485	
県西	医療需要	79	358	322	250	1,009	
	必要病床数	105	459	358	272	1,194	
宇都宮	医療需要	327	1,136	1,226	1,074	3,763	
	必要病床数	437	1,457	1,363	1,167	4,424	
県東	医療需要	46	211	180	142	579	
	必要病床数	61	271	200	154	686	
県南	医療需要	515	1,353	1,586	527	3,981	
	必要病床数	687	1,735	1,762	573	4,757	
両毛	医療需要	155	494	517	459	1,625	
	必要病床数	206	633	574	499	1,912	

◆栃木県における2025年の在宅医療等の必要量[人/日]

県全体	17,285		
県北	2,822	県西	1,316
宇都宮	5,012	県東	951
県南	4,089	両毛	3,095

必要病床数は、将来の医療提供体制づくりに向けた参考値であり、病床の削減目標といった性格を持つものではありません。

【参考①：平成47(2035)年の医療需要と必要病床数】

区域名	機能区分	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計	
県全体	医療需要	1,290	4,398	5,036	3,264	13,933	(単位:人/日)
	必要病床数	1,719	5,639	5,599	3,547	16,504	(単位:床)

【参考②：平成26年度病床機能報告結果】

		2014年 (単位:床)					計
		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	無回答	
全体		3,739	7,782	1,258	4,365	353	17,497
病院		3,720	6,680	1,062	4,199	257	15,918
	診療所	19	1,102	196	166	96	1,579

※平成26年7月1日現在の状況について、医療機関から提出された報告結果(提出率:92.8%)です。

※機能区分は、病床が担う医療機能について各医療機関が自主的に判断して報告したものです。機能区分の考え方は、必要病床数の推計における機能区分の考え方と異なります。

※「無回答」は機能区分の回答がなかった数で、「計」に含まれます。また、「計」には稼働していない病床も含まれます。

◆将来の医療需要に対応した医療提供体制構築の方向性

2025年の必要病床数と、2014年の病床機能報告結果を比較すると、総数では報告された病床数が必要病床数を上回っていますが、病床の機能別の内訳を見ると、報告された病床数より必要病床数が上回っている機能区分もあり、将来に向けバランスのとれた医療機能を確保する必要があります。

現在の医療資源を最大限に活用し、急性期から回復期への病床機能の転換等の促進や、慢性期においては入院医療のほか在宅医療や介護も含め地域全体で支える体制づくりが必要です。

【高度急性期・急性期】救急医療等を確保したうえで、集約化や連携強化等により必要な機能の確保

【回復期】急性期を担う医療機関との連携、より身近な地域で医療を受けられる医療提供体制の構築

【慢性期】療養病床のあり方の検討状況や在宅医療や介護サービス基盤の状況を踏まえ、長期にわたり療養が必要な患者を地域全体で支える体制の構築

【在宅医療等】在宅医療の基盤強化及び介護サービスとの連携強化、地域包括ケアシステムとの調和

4. 目指すべき医療提供体制の実現に向けて

少子高齢化の進行に伴い、より身近な地域において「治し支える医療」の確保が求められます。

救命救急はもとより、高齢者の複数疾病の罹患や長期的な療養生活の支援等の変容する医療ニーズに適切に対応するため、「医療介護総合確保基金」を活用することで、以下の施策を推進します。

【医療機能の分化・連携】 病床機能の転換の促進、医療機関間の連携強化、県民理解の促進等

【在宅医療等の充実】 在宅医療サービスの基盤強化、多職種連携強化、知識の普及啓発等

【医療従事者の養成・確保】 医師及び看護職の確保対策、多様な専門職の育成支援等

【その他医療機能の充実及び連携体制の強化】 5疾病(がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病、精神疾患)・5事業(救急、災害、へき地、周産期、小児救急を含む小児医療)の施策の推進等

5. 地域医療構想の推進体制等

「栃木県医療・介護総合確保懇談会(仮称)」や区域ごとに「地域医療構想調整会議」を設置するなどして、構想実現に向けた取組等についての情報交換や協議を行います。

第2章 構想区域別地域医療構想

■各区域の地域医療構想のポイント(現状と施策の方向性)

	現 状	施策の方向性
県北	<ul style="list-style-type: none"> ○構想区域が広大であり、全ての病床機能区分で患者の流出が見られるが、高度急性期や急性期において特に顕著 ○区域内で救急医療体制を完結するためには、複数の病院の連携により、各分野をカバーできる体制の構築が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ○可能な限り居住する地域で急性期から回復期までの医療が受けられ、療養ができるような医療連携及び医療介護連携体制の構築 ○交通アクセスの問題なども含めたまちづくりに向けた、関係機関・団体との連携の促進 ○在宅療養者等を支える保健・医療・福祉・介護のネットワークの構築
県西	<ul style="list-style-type: none"> ○全ての病床機能区分で患者の流出が見られるが、高度急性期において特に顕著 ○急性期で流出した患者(がん、脳卒中、急性心筋梗塞等)の在宅復帰に向けた回復期病床が不足 ○区域内の小児患者が入院可能な医療機関がない ○広範な構想区域をカバーする在宅医療の資源が乏しい 	<ul style="list-style-type: none"> ○交通アクセスの整備状況等をふまえて、集約化も含めた医療機能の分化と連携体制の構築 ○がん、脳卒中、急性心筋梗塞等の回復期を担う医療機能の充実 ○周産期医療の充実と小児入院機能の検討 ○在宅医療資源が乏しい地域の介護施設のあり方等の検討
宇都宮	<ul style="list-style-type: none"> ○高度急性期の一部(小児医療)で患者の流出が見られるが、その他の機能では流入がみられる ○医療機関数は多い状況にあり、各医療機関が担っている機能をより明確化し十分に活かす必要がある ○在宅医療等の需要増に対して、量・質ともに充実が求められる 	<ul style="list-style-type: none"> ○救急医療や小児医療等、必要な医療提供体制の維持及び連携体制の強化 ○リハビリテーションを提供する病床や在宅復帰を支援する病床の整備促進 ○各医療施設の役割分担の明確化と住民への周知 ○在宅医療等の基盤整備の促進
県東	<ul style="list-style-type: none"> ○全ての機能区分で患者の流出が見られ、特にリハビリテーション等の回復機能における流出が大きい ○がん治療では、県南及び宇都宮への流出が見られ区域内のがん治療の在り方についての検討が必要 ○構想区域内の中核病院において移転計画が進められている 	<ul style="list-style-type: none"> ○急性期病床から回復期病床への移行転換や、在宅復帰に向けたリハビリ機能の充実 ○構想区域におけるがん治療の在り方の検討 ○地域の関係者の協議に基づく、中核病院の移転整備後の機能の充実と役割分担による連携体制の強化
県南	<ul style="list-style-type: none"> ○二つの特定機能病院に、三次救急や子ども医療センター、総合周産期母子医療センター機能が集約 ○高度急性期、急性期を中心に県内外からの患者の流入が見られる ○慢性期で患者の流出がみられ、在宅医療等の充実が求められるが、在宅医療に取り組む医療従事者の確保が難しい 	<ul style="list-style-type: none"> ○高度急性期及び急性期において現在担っている機能の維持・強化 ○回復期機能を確保するため、地域バランスを考慮した病床機能転換や設備整備等の促進 ○慢性期患者及びその家族を支えるために必要な病床や在宅医療、介護施設等の役割分担や連携等の構築
両毛	<ul style="list-style-type: none"> ○様々な機能と分野で隣接する群馬県(太田・館林)との間で流出が見られる ○佐野市において急性期後に転院する後方病院が少ない ○高齢化の進展が早く、在宅医療等の早期の充実が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ○隣接する県との連携も踏まえた機能分化と連携の推進 ○病床機能転換や設備整備等の促進による回復期病床及び回復期リハビリテーション機能の充実・強化 ○在宅医療の基盤整備及び介護との連携強化による在宅療養体制の構築